

議長／皆さんおはようございます。

前日に引き続き本日の会議を開きます。

日程に基づき、市政事務に対する一般質問を始めます。

それでは、14番 宮本議員の質問を許可いたします。

御登壇を求めます。

14番 宮本議員

宮本議員／皆さんおはようございます。

これより、14番宮本栄八の一般質問をさせていただきます。

今回も8項目出しておりますけれども、急いでやっていきたいと思えます。

まず、市民の方はあまり知らないと思えますが、構想10年、着工20年をかけた鉄道高架区画整理事業が昨年元年に生産業務(?)を終了して、本年度、特別会計も配置される予定です。

この鉄道高架区画整理は紆余曲折、市民論議の歴史でもありました。

特に南国ビル移転時までは活発だったと思えます。

当時は、社会開発から漢字の町づくり、ひらがなのまちづくりと変わり、市民参加、市民論議が活発にされていました。

その頃、市の計画をコンサルタントに発注するという方式が始まっていました。

でも、そのときに年配の人たちは、都会のコンサルタントに発注するごたぎ(?)職員はいらんというぐらい、自分たちのまちのことは自分たちが知っている、自分たちが考えるという気概があったのだと思えます。

しかし、時代や内容も複雑になり、まずはコンセプトを地元で決めて、そしてコンサルに発注し、それをたたき台にしてまた市民論議をしていくというふうな形がしばらく続いていたと思えます。

ただ、近年の市民論議がどうなのかというと、私はちょっと、昨日の牟田議員のお話じゃないですけども、以前に比べて低調ではないかなと感じます。

その原因的なものをちょっと見ていくと、市の大きな計画をコンサルタントに発注し、途中はよく分からずに年度末近くになって案が出され、2週間のパブリックコメントを経て、案がほぼ変わらずに取られて決定すると。

そして、その市民の意見は、その計画案の一番裏にまとめて列挙されているだけで、それが本題のほうに波及して変換されたというのがないように感じるわけなんですよね。

そういうことで、この鉄道高架区画整理の一応、終えんを迎えた今日、もう一回、住民参加行政というのを問い直してみたいということで、出しました。

そして、今そういいながらも、今、市の中でも、いいこともされております。

それは、ポータルの中にある御意見コーナーです。

以前は多分、御意見コーナーのアイコンが大きかったので、27年、8年までは10、10ぐらいで(?)出ておりましたけれども、この2019年、20年とかは全くありません。

その原因は何かなと思ったのは、分かりませんが、アイコンが小さくなって、ポータルが一番下に小っちゃい文字の同じ並列で書いてあるところに御意見と書いてあるからクリックをする人がいないのかなというふうに思いまして、この内容はなかなか答えはいいんですよね。

極端に言えば、議会の答弁よりも丁寧に書いてあるときもあるんですよね、市民向けということ。

だから、こういういいのをもっと知ってもらって、2年間も1件もないじゃない形に持っていつてもらいたいと思うわけなんですけれども、この点について、この御意見コーナーの充実についてお尋ねします。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／おはようございます。

まずもって、武雄市ホームページ上に記載しております情報の配置につきましては、市民の皆様方にお届けしたい情報、例えば最近で言えば新型コロナ感染症に関する情報や、市内外の皆様方にお届けしたい情報を優先的に、また、見やすいように配慮しながら配置しております。

議員御質問の御意見・御要望のコーナーにつきましては、先ほど言われました一番下のほうにしか掲載しておりませんが、その後の議員御質問であります、28年度以降、回答について載せていないにつきましては、個別具体の案件に関する御意見・御要望が増えまして、多くの中で回答することに適さない事案が増えたために、一律に掲載を行わないように運営を見直したところでございます。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／あまり皆さんに知らせたくない情報というのですかね。

でも、この中には、よくある質問とあって、結局みんながそうそうと、聞かなくてもよかったというのがたくさんあるんですよね。

だから、全くその2年間、一つも表に出せるような質問がないというのがちょっと、私としては疑問かなと。

そいけん、やはり少ないというか、これを1ページを(?)出して、スクロールして、一番

下のここにあるんですよね。

多分みんな気づかないと思うんですよ。

だから、それはそれとして、意見がどれだけ出ているのかちょっと分かりませんが、これでありまして、言っても、ほぼ皆さん分かります。

それも、市のホームページを出して御意見を出して、これまでの御意見を出して、御意見の一覧の中から選んで御意見を見るというような感じで、ちょっと1回説明されても多分たどり着かんと思うわけですよ。

だから、そういうことでよろしく願い申し上げます。

そして次は、これもいいなと思うのは、予算の記者発表資料ですよ。

それは昔なかったと思うんですよ。

それで、結局記者の方に絵がついたやつをお見せするわけでしょう。

それは記者の人がその絵を生かして報道してくれるという狙いでされていると思うんですけども、結局は紙面の都合でその絵まで載せない形での報道だから、せっかくのそちらの作成が十分に生かされていないのかなというふうに思います。

それは、ホームページにはありますけれども、それもまたホームにいて武雄市議会を出して、定例会を出して、12月議会を出して、議会案とそこまで届かないと(?)いけないんですよ。

私も職員さんから1回聞いてはいたけれども、途中またもう一回電話して開いたという格好です。ホームページのほうでも開きにくいんですよ。

でも、内容はこういうふうに、一目して分かりやすくできているんですよ。

宝の持ち腐れになっているんですよ。

だから、これを市報に全部載せるのは紙面の都合があると思いますので、回覧のほうに取りつけて、そのホームページのさっきいった、ホームページ行き方、こういう行き方を説明すれば、関心のある人は見て、予算に対する共通認識というんですかね、そういうのができるんじゃないかなというふうに思いますけれども、これをペーパーで回覧とかにつけてやるのができないかお尋ねします。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／おはようございます。

議員御提案の件ですけれども、実際に回覧となりますと、各世帯に回覧されるタイミングとありますと、議会開会後しばらくたってからの時期になることや、また、内容を正確に伝えるためには補足説明が必要である、また、予算案の段階であるにもかかわらず決定事項のように受け取られる可能性が高くあるなどから、予算の記者発表資料を回覧をすることについて

ては、広報広聴の面で十分な効果は認めないというふうに考えております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／今、何か矛盾されることを言いましたよね。

回覧を回すのは遅いから時期遅れと。

でも、これを出したのは議会に通る前だから時期尚早と。

何か、両方のことを言われているんですけども、結局これを出して、議会に通った後、通らないやつだけを減らして回覧で回せばいいわけでしょう。

だから、何かせんための理由を両方に分けて言っているように聞こえますので、せっかくなのがあるって、市長さんがテレビ放送で言うくらいのことだから、もっと回覧でしてもらいたいんですけども、これを出すこと自体がいけないんですか。

私がコピーして、区長さんに回覧で回してもらおうっていうことは駄目なんですか。

この資料自体を使うことが駄目なんですか。

議長／宮本議員、モニターをするときには、あれをこれをじゃなくて、ちゃんとした言葉で言ってもらわないと見ている人には分からないと思いますので、その点、注意してください。

山崎総務部長

山崎総務部長／資料の活用について制限をかけているということではありません。

回覧した場合には、先ほど申したような事案が発生するおそれがあるということから、十分な効果が見込めないという判断させていただいているということでもあります。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／効果はあると思うんですよ。

そして、説明が要るようなのは（？）説明をつけていいじゃないですか。

特に説明が必要なやつは外せばいいし、これを先ほど言いました、私が利用して区民に知らせることは可能なんですかね。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／先ほど申しましたように、資料につきましてはオープンにしている部分でありますので、御活用させていただいて結構かと思えます。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／私ができて、市ができんというのもちよっとおかしいかなと、少し区長さんとかに聞いて考えてみたらどうかなというふうに思います。

一応、今日の答えは今日の答えで聞いておきます。

続いて、宿泊者施設支援です。

今度の記者発表の中にも、新規投資について投資された宿泊施設に対して支援をすると。

それはそれでいいのかなというふうに思うんですけども、今、宿泊業者の方のお話を聞くと、投資どころの話じゃなからうと。

今、従業員さんを守ったり、この施設をさびつかせんために、借り入れをしてしようというわけですよ。

投資じゃなくて借入と言いなさあわけですよ。

借り入れならあれですけども、結局そうなってくれば、投資以外でも結局、宿泊施設の人は自己所有物件が多いので家賃補助というのも当たらないんですよ。

そして宿泊施設というのは、ある意味、設備産業ですもんね。

その建物自体が設備産業なわけですよ。

だから、そちらのほうにも何かしら支援をしていいんじゃないかなと思います。

そういうふうなことで考えると、30年くらい前に航空会社が湯治の里（？）とってから、武雄市に観光客をたくさん送り込んできましたもんね。

そのときに、ヨダミセ（？）というお土産屋さんが、今の東洋館（？）の前の空き地というか、駐車場のところにあったんですよ。

でも、それだけでは足らんということで、観光協会に市が補助してですよ、もう一つ、お土産店をつくったわけなんですよ。

そしたら、そのヨダミセ（？）は潰れましたよね。

そして結局、武雄市が支援した観光協会も結局、負担金というか、赤字補填が大きいので、結局そこも何年かしたら撤退したということになっておりますので、結局、新規の応援も必要ですけども、今あるやつも守っとかんと元も子もないという形になるわけなんですよ。それも実際、経験もしてきているんですよ。

だから、今の宿泊施設に対しても税の減免とかは、税を払われたやつを返すだけだから、私は、臨時交付金がなくてもできる事業でありますので、それとは言わず、何かしら現宿泊施設にも支援をしなくてはいけないんじゃないかなと思いますけれども、これはもう、市長さんって名指しはあまりしたことないんですけども、市長さんに答えていただきたいような気持ちで思っております。

議長／小松市長

小松市長／おはようございます。

当然、既存の宿泊施設、本当に今、頑張っていていただいておりますので、そこに対しても私たちとしてはやっぱり武雄の火を消さないためにしっかりと支えていくと、これは当然のことかと考えております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／よろしく願いいたします。

それで、両方立って(?) いくようなことを考えていただけたらと思います。

続いて、都市計画マスタープランについてです。

都市計画マスタープランを、私がもう担当課にも絶えずどうなっている、どうなっている、どうなっているというのは、この都市計画マスタープランが決まらないと、いろんな長期未着手の都市計画道路の見直しもできなければ、下水道の範囲を広げられないので下水道の補助金も受けずに単費でやらんといかんと。

そして、主要道路についてもどこをするか決まらないから、今のようなくスマチ線(?) といつか、コメリとかできたところを後追い整備してという格好になっておるわけですね。だからこれが決まらんと、どれも頭打ちになってしまうわけなんですよ。

そこで、新聞報道でタクシーのマスタープランの見直しというのが佐賀新聞に取り上げられて、その審議会の様子も画像で写っておりました。

そこで、多久市のほうに行って、今、何のために見直しているんですかというのをお尋ねに行ったときに、もう答えは明確で、人口を増やしたいと。

でも、今はそういう増やせるときじゃないと。

そして、減らすことをせんといかんと。

減らさんためにはどうするかと。

それは多久を(?) 3拠点に絞って、その都市基盤をすることによって住宅を促進し、人口減を食い止めると、5分ぐらいで言われるわけですね。

なるほどなと思ったわけですよ。

武雄では余り、マスタープランの方針とか聞いたことないなというふうに思って、それで今回、武雄市はマスタープランを3年もかけてすると。

普通のマスタープランだって2年ぐらいでできるものを、都市計画というハードだけのマスタープランを3年もかけてすると。

その基本方針は何なのかについてお尋ねします。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／おはようございます。

都市計画マスタープランに関する御質問ですが、本市においても人口減少、高齢化が進んでいる現状において、医療、福祉、商業等の都市機能、居住の集約によるコンパクトなまちづくりと、これと連携した公共交通のネットワークづくり、併せて、近年頻発、激甚化する自然災害への対応として、防災の観点を考慮したまちづくりを目指す方針としております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／コンパクトなまちづくりで、災害に強いまちづくりということですね。

そうは分かるんですけど、もう少しそれをどういうふうに山内、北方拠点置いてとか、その辺ぐらいまでちょっとあっていいのかなというふうに思うんですけども、一応そういうことで、コンパクトで災害に強いっちゅうことでしたよね。

それはもう具体的にどう生かされているかよう分からんとですけども、嬉野の都市計画マスタープランとかは、まず素案というのを出されて論議されているとですよ。

ほいで、武雄市は何か素案的なものが先ほどから言いように、たたき台的なものがいつもないから、話が低調なわけですよ、はっきり言ってですね。

そいで、多久は、もうそういうのでいろいろオープンで話されて、話合いの内容も分かっているっちゅうことなるんですけども。

それで、結局、このマスタープランを3年度末に出すというわけですよ、3年度末。

1年前倒しでできんかなって、さっき言われた***ことですよ。

3年もかけんでできるんじゃないかなと。

そいぎ前倒しすると、言っているように、またこれを3年度を待つといたら4年度予算に生かされんわけですよ。

またそれからしばらくかかーわけですよ。

そげん、せめて1年って言わんですけども、半年前倒ししたら、来年度決めたらですよ、次4年にはもうちょっとスタートできる***、そいぎその計画がこれにも、これにも、これにも作用してきて波及効果が大きいわけですよ、4年度のスタートのですね。

だから、それについて半年程度前倒ししてできないのかお尋ねします。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／都市計画マスタープランについては、3年の計画でスケジュールに基づいて進めておりますけど、現在、昨年から現状の確認、地域での確認等を行っております。今年につきましては、各中学ごとの課題とか問題点を出してもらっております。そういう中で、今後地域ごとの構想、市全体の構想等、そういうところを結びつけていくこととなりますけど、来年は用途地域、長期未着手の都市計画道路等もありますので、そういうのも含んだ中での計画となりますので、全体計画、マスタープランに合わせてという計画となりますので、今の3年計画の中で進めているということになります。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／私が言っている意味は分かると思いますので、その4年度の当初予算にいろんなところができるように、そのお話を聞くって言われたですけども、各地に行って、どういうふうに思うんですかっていうことで、何も次のこととなりますけども、今はまちをどう思っていますかちゅうことをちょっと調査に行っただけですよ。

もう極端に言えば、アンケートで取れることを回っただけなんですよ。

だから、本当に必要なのは早くそれをつくって、今の計画では住民説明会はないですよ。

だから、早くつくって、住民説明会をしてほしいと。

住民説明会の予定ないけども、それをせんとやっぱり駄目と思うわけですよ。

だから、そのスケジュールの中に前倒しも必要ですけども、住民説明会をスケジュールの中に入れてもらえませんか。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／先ほども申しましたように、都市計画マスタープラン案についてはスケジュールに沿って現在作成中であり、計画的に進めているところでございます。

住民に対する意見反映については令和元年度に市民2000人、候補生500人を対象にした都市計画に関するアンケートを実施しており、自由意見欄(?)を設け、様々な意見をいただきました。

また、今年9月には各町区長会(?)及び公民館長から御推薦をいただいた方々と、公募で応募をいただいた皆さんで、市内5中学校区ごとに20年後のまちづくりをテーマにワークショップを開催しました。

11月には、5校区合同のワークショップを開催し、校区外の参加者の意見を聴いた上で、校区ごとのまちづくりについて検討を深めていただいたところです。

このように、都市計画マスタープラン案の作成段階によって、住民の皆さんの御意見を反映させてきているところがございます。

さらに今後、原案に対してのパブリックコメントを予定しており、住民の皆さんの意見反映に努めていきたいと考えているところがございます。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／最初の話はいいわけですよ。

でも、みんな知りたいのは、それを聞いてつくった案について説明を受けたいんですよ。

パブリックコメントをするからってまた同じような、同じ会見になったでしたよね。

じゃなくてですよ、さっき素案ってあったじゃない、嬉野の素案って。

素案のほうもつくって、それでみんなで話し合うって。

そんな感じに、またこれちょっと言わんといかんと思いますので、また今度お話ししたいと思います。

続いて、アセット計画です。

アセット計画を見ていると、その相撲場を廃止すると。

でも、その町子連（？）とか相撲連盟に、その後ちゃんと話に行っているのかなど。

たまたま今年はコロナで相撲大会なかったですけども、もう 30 年も 40 年も続く相撲大会をやめんといかんかどうか、結論になるわけですよ。

新たなところですかですね。

そいぎ、そこをずっと追って話をしているところが見えんわけですよ。

そこで、そしてその後の駐車場もどういう駐車場にするかも分からんし、勤労者会館についても会館機能を文化会館に移すっていうけど、文化会館をどう変えるかも分からんし、勤労者福祉センターのシルバー人材センターっていうのについては、何も触れていないからどこに行ってもいいか分からんわけですよ。

この辺を、結局、いきさつですよ。

どうするこうするじゃなくて、その話の詰め方について、責任者は一体誰なのかをお聞きします。

議長／宮本議員、提出された議案の内容にふれないようにお願いします。

宮本議員／進め方についてです、予算じゃなかです。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／計画に基づきます、各施設の具体的な取組につきましては、各施設の所管課において実行しているということにしております。

また、計画の全体的な進行管理につきましては、アセットマネジメント推進室で行っていくというふうに考えております。

議長／モニターの使用については、ちゃんと決められたとおりにしてくださいね。

宮本議員／いや、これはアセットに書いてあることやけんですよ。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／これはアセットに書いてあることやけんですね。

予算の件を言っているわけでもなかし。

そういうことで、担当者っていうわけですよ。

そいぎ、担当者が全然市民を、私は今、担当者の進行管理問題かなって、こう思ったりするわけですよ。

そいぎ、例えば今その担当課、スポーツ課は、この相撲場について事前話みたいなことをしてあるんですかね。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／相撲場の統廃合につきましては、関係団体と少しでございますけど、事前の打ち合わせをしております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／その反応はどうか。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／統廃合に対する賛成もあれば、反対という意見もございます。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／そこをもうちょっと皆さんにも見える形でしていただきたいと思います。
今日は、一応担当課が責任で、進行管理がアセットというけど、その進行管理というのがちょっとどこまでを進行管理、その課がどんどん進めているか進めていないかのチェックもするんですかね。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／アセットの個別施設計画につきましては、9月に全ての計画がそろったような状況になっております。

計画の全体的な進行管理や期間ごとの見直し等につきましては、全庁的に連携を図りながら行っていきたいというふうに考えており、個別の施設ごとの対策につきましては、各担当で責任を持って実行していく必要があるというふうに考えております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／そしたら、例えば朝日の体育館あるですよ。今は適切に維持をして長くもたせると、期限限界までもたせるとこうなるとるんでしたよね。そいぎ、担当者がいろいろ調べて雨漏り問題になって、やっぱりすこし改修をしたほうがよかところな一(?)ですよ。そうしたときには、担当課がアセットに申し入れて変更するような感じになるんですかね。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／アセットの個別施設計画につきましては、40年後の先を見据えた格好での計画というふうになっております。

今議員がおっしゃったような個別に緊急を要する修繕等が発生した場合には、その都度、その都度状況を見ながら対応をしていきたいというふうに考えます。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／アセット計画は絶対のものではないということですね。でも、担当者の人が話を進めるに当たって何というかと言うと、アセットに書いてあるですもんねと、こういんさ一わけですよ。

その理由を言う前にアセットに書いてあるんですよねと、そいぎ、そのとおりにせんばいかんっていうふうな観念にとらわれているところもあるのかなっちゅうふうにちょっと思って、質問しました。

次に、結局、今アセット計画をしてあるんですけども、西体育館とか廃止になっていますけど、そのままあるわけですよね。

私から考えれば、行政財産という右のポケットから、普通財産という左のポケットに移し替えただけで仕事が終わったみたいな感じになっていると思うんですよね。

なので一切、市民から見たら何の変化もないと、こういう形になっていると思うわけですよ。ということは、この土地について、アセットというか建物についてになっているもので、構築物になっているもので、結局、土地とかその一般財産になったときのそのことが全然触れていないから、もうこういうふうな感じで右のポケットから左のポケットに行くというパターンが続いていくんじゃないかなと。

そういうふうになればやっぱり跡地利用、例えば今度、住宅ができれば小原住宅とか公営住宅とか、その後の利用とかそういうことで、都市アセットをつくらんと、今みたいに右から左にポケットを変えるだけになるんじゃないかなというふうに思って、その土地アセット策定っていうんですかね、そこまで大きくなくてもいいですけども、その跡地利用活用策を早急につくらんと意味がないというふうに思いますけども、その辺についてお聞きします。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／施設の跡地とうにつきましましては、それぞれの状況に応じて判断して有効活用していきたいというふうに考えております。

また、市有地の利用計画につきましましては、行政改革での財源確保の観点等からも検討していきたいというふうに考えております。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／どっちのほうもして、行革に役立てていただきたいと思います。

よろしくをお願いします。

続いて新幹線です。

ハブ都市、新幹線開業ということは、ハブ都市建設ということとほぼイコールで進められている感があります。

これまで、その内容を見てみますと、一応意見をまとめられて行動計画ということをつくってあります。

この辺までは確かに、市民の意見を聴いてKJ法といういろんな意見を出すやつを網羅してありますけども、牟田議員と一緒に聞いた商工会議所の説明会では、まだ未確定ですって書いてあるわけですよ。

まだ、そのする項目が未確定になっとうわけですよ。

私は、最低温泉***とかバスセンターとか、そういうことはもうちょっと今回はしてもらわんといかんかって自分自身は思っていたわけですけども、その中にこの工程図っていうのがあります。

工程図というのがあるんですけど、これが工程図です。

これが大体、6個に分かれとって、それは未確定っちゅうわけですよ。

みんな未確定と。

そして、各項目をずっと引き上げてみますと、41から10まで176、済みが3、残り173あるんですよ。

これはどう見てもちょっと難しいなと。

まだ未確定で173もあってですよ。

そして特に、この温泉駅周辺整備と駅広(?)のところですね、これになるんですけども、令和2年のところに、実施計画策定ってなってるんですよ。

実施計画策定にですね、基本的に。

そして、令和3年度に工事着工ってなっているんですよ。

そしたらもう令和2年も、もう正月を挟んでちょっとしかないですよ。

そこに実施計画って多分できんですよ。

ということは、もうこの計画がショートしているなというふうに思ったわけなんですよ。

そこで、こういう173目を未確定で並列に進んでいっては、牟田議員も言う1年半というんですかね、2年というか1年半ぐらいと思うんですけども、そこでできるのかなってちょっと思ったわけですよ。

だから、この173方式をやめて、緊急項目を10ぐらいに絞って、何ていうかな、今はやりの全集中というんですかね、そういうふうな感じでやっているとアウトになるんじゃないかなっちゅうふうに思うわけなんですよ、時間的にですね。

だからここでシフトチェンジというか、その集約の仕方をちょっと考え直さんといかんじゃないかなってという提案なんですけども、どうでしょうか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／議員御指摘の行動計画、いわゆるアクションプランでございますが、この173の事業と申されましたけども、まず大きな柱として6つの柱がございます。

この柱にひもづけた部分の事業が35ございます。

議員がおっしゃられているのは、その35にぶら下がっている一つ一つの細かい項目であるというふうに考えておりますが、私どもとしては6つの柱の中に35の事業を抱えた中で、その内容に沿って取り組むべきアイデア等を入れ込んでおります。

また、予算や運営主体など検討を行いながら協議を進めているところでございます。

議員御提案の、その優先順位をつけてというふうな考えなのかなというふうに思っておりますが、当然ながら開業まで取り組むべきものについて、また、開業以降、実施するものなどについては、この35の事業については、私どもの中で優先順位をつけて取り組んでいるところでございます。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／優先順位をつけてしているなら、駅のハード整備、高架下観光交流整備事業を令和2年に基本設計、実施設計、基本設計は見せてもらったことないですよ。

ということは、まだ実施設計まで行かないっちゃうことですよ。

ということですよ。

そして、駅の整備でも一般車の一時車両(?)とバスの待機所の設置実施設計って書いてあるんですよ。

実施設計見せてもらったことないんですよ。

だから、多分、言われるその話もあるんですけども、客観的に見たら、絶対あれですよ、遅れているですよ。

だから、さっきの大項目ってありますけども、大項目の中の小項目って同じ内容じゃないんですよ、全部違う内容なんですよ。

だからちょっとあまりもう言いませんけども、優先順位をつけているというのなら、その優先順位を明らかに示して、タイムスケジュールどおりにやっていただきたいと思います。

そして、次です。

次は、武雄温泉駅周辺整備です。

これについても、この図案はもう過去のもので今とは全く違うって言いながら、まだこの図を出しながら、そして、新しい案については3年度の末と言われるわけですよ。

2年度末と、3年3月に出すってこうと言われるわけですよ。

その辺もちょっと私から言うと遅いとですよ。

もう嬉野はつくって、温泉の掘削に着手していますよね。

でも武雄って、足湯の湯をどこから持ってくるさえ決めとらんですよ。

ということで、まずはそこの論議を進めるためには、この駅周辺整備のパス図をもう3月

と言わずに、年明けすぐに出してもらいたいと思いますけども、どうでしょうか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／駅前広場のイメージ設計のイメージ図でございますが、今、宮本議員が出されているものについては前の部分だと思います。

新しいイメージにつきましては11月の市報、また12月の市報でも掲載をさせていただいているところでございます。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／でも、この間の資料でもそれはついていないですよ。

画像で出して、これは未確定ですので、まだ見せられんみたいなことをやっているんですよ。

すみません、商工会議所での説明会ですね。

だから、そこは確定していない、見せられる状態じゃないというふうに私は思っていますけども、都市計画課はどうですか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／先ほども申し上げました、見せられないじゃなくて、イメージ図等については掲載をしております。

また、先ほどからアクションプランについての、前後されている分もありますけどもというふうな御指摘がございますけども、当然、計画でございますので、進行する中で前後する部分は若干あるかとは思いますが。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／都市計画課の担当ではどうですかね。

私、都市計画でちゃんと見せてもらったことないんですけども。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／先ほどの営業部長の回答と同様となっております。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／きっと違うと思うんですけども、それはもう後日、早速この後、担当課に行って確認したいと思います。

続いて、この話は前倒し話ですけども、この3月の発表を前倒して発表できないかをお聞きします。

今のお話じゃ発表したちゅうことになるのですか(？)。

前倒し発表についてお聞きします。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／先ほどからも申し上げておりますが、もちろん最終の形ではございませんが、***でき次第ということで、11月、12月の市報等でも公表をしているということでございます。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／都市計画課はそいぎ最終段階じゃなかから出されんというて出さんやったのかなと思う。

でも、その途中は出しているということなんですかね。

そしたらもっと議論を進めてもらいたいと思います。

この財政計画を見ても、ここの令和3年のところ、非常に少ないんですよ、支出が。

だからここでやったほうがいいんですよ、はっきり言えば。

ということで、次に行きます。

水道事業についてです。

西部広域水道に加入して広域のメリットもあると思います。

そこで、私がちょっといろいろ事業団と話す中で、今後は市の政策的な配管、本管の配管は、西部のほうでは考えていないということ、基本、受益者負担だというふうなことを申されたので、今まで武雄市のほうでは、ここの給水管は十分ですけども、ここの本管は市が入っていたと思うわけですね。

事前投資していたと思うんですよ。

そして、西山線も片方に入っていて、以前は反対側から引いていたやつを政策的に両側引いて、今の住宅街というんですかね、ここの西山線の住宅街が急に発展したわけなんですよ。

だから、そういうことにより、ちょっと政策的な配管ができんと、住宅ができん。

ここ自体も、政策的には後から入れた配管ではあるとですよ。

もともとは南側しか配管なかったもんですね。

ということで、この政策的配管の関係で住宅政策が関わってきますので、今後、市道とか何とかに政策配管が西部はできんと言うですけども、できるのかできんかということと、できん場合、市で政策配管をして、受益者に分担して今の下水道のようにやっていくのか、その辺についてお聞きします。

議長／高倉環境部長

高倉環境部長／おはようございます。

議員からのお尋ねの市が政策的に行う事業についての水道管布設での質問でございますが、現在、水道事業を行っております佐賀西部広域水道企業団に確認をいたしました。

回答といたしましては、市が行う政策的な案件に係る水道管の布設について、市からの協議を受けて判断をするという回答でございました。

2点目の、今後の市が計画的に水道管を布設すればという御提案でございますが、武雄市は本年4月より水道事業を佐賀西部広域水道企業団に移管をしております。

現在、水道事業者では行っていない(?)というところにありますので、市が水道管を計画的に布設することはできません。

よって、議員からの御提案は、する考えはございません。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／取りあえず、西部にお願いをしてみるということでしたよね。

西部ができんと、例えばこの西山線やったとするじゃないですか。

こっちは西部がしていいよと、こっちは西部はしませんと言われたときにですよ、みんながこっちから管を引いてくるというのは不便なことで発展もしませんので、何も考えを市が出す必要はないですけども、水道配管基金みたいなやつを事前に入れとって、取り次いだ人からお金をいただければですよ、途中、途中で家が造れるんですよ。

結局、隣、隣に行かんでもできるわけですので。

今現状、ほかの市に聞いたら、そういう市街地が余り広がっていないということですので、ちょっと事例も少なくてもあれなんですけれども、その辺も次に現実に出てきた場合を想定して、頭のトレーニングをしていただきたいと思います。

続いて、配管によるメリハリというんですか、この水谷線ですね、小楠水谷線のほうには市

道を整備して水道がきているからいっぱい家が建っていますよね。

でも、その西側のほうは水道も来ていないので全く農地のままですよ。

だから、そういう矛盾というのが出てきますので、これは下水道も関係しているんですけども、その辺の克服というのも考えていただきたいと思います。

それから次、コロナ対策についてです。

今度はこれを出した後に国のほうが経済対策をつけてきたので、こういう話は不必要な話になるのかもしれませんが、コロナの臨時交付金の二次が残り 3000 万になっておりますというところで、今後、国からの金がなくても独自に市がコロナ対策の予算を前みたいに基金から取り崩したりしようと考えているのかどうかについてお聞きします。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／これまでも新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のみではなく、一般基金や財政調整基金等を活用し、感染対策に取り組んでまいりました。

今後も同様の考え方で進めてまいります。

議長／14 番 宮本議員

宮本議員／久しぶりに明確な答えをお聞きしました（?）。

そうしたら、もう 1 点は、今、新生活様式支援事業というのを 11 月 2 日に市長が専決されて、承認を我々が 25 日にしたんですけれども、もう 20 日の時点でこの専決が終了しちゃったという話で、びっくりしたわけですよ。

もう終わった後のやつを議決したということですよ。

そうしたら今、それは結局、新生活は需要が多いということですので、グループ補助金のフレフレがまだ残っているやつをこっちのほうに回したほうが市民のためになるんじゃないかというふうに思うんですけれども、どうでしょうか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／新生活様式導入支援事業補助金についてでございますが、議員御指摘のとおり、予算の上限に達しましたために 11 月 20 日で受付を終了しております。

今後につきましては、状況等を見ながら必要に応じて対策を行っていきたいとは考えておりますが、現時点でこの部分を（?）継続するという予定はございません。

また、フレフレ補助金等の利用をしてはどうかという御提案ですが、フレフレ補助金につき

ましては、現在も事業が進行しているところでございますので、この予算を利用することはできません。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／これがもう承認する前に終わっているぐらいに需要があるわけですよ。

だから、考えることはないと思うとですよ。

需要があるとこれだけ分かって、フレフレは期限を延長しているんですよ。

12月18日に終わるのを、令和3年2月まで、赤ペンで修正して伸ばしているんですよ。

だから、誰が見ても需要の差というのは明確なんですよ。

だから、そこについてもう一度考えてほしいと思います。

次に、GIGAスクールについてです。

パソコンを11月末に全て完了しました。

私、心配するのは以前から、もう10年前からやっていますけれども、余り活用がないということですよ。

今度、学校を訪問したときに、以前のケイアン(?)から3種類ですね、東芝の2種類。

3種類見せてくださいって、そして持ってきんさったとですよ。

新品同様ですもんね。

もう手垢のついて、汚れとるわけじゃないとですよ。

今度、廃止して(?), キーボードとかついていないから廃止するんですけども、新品同様なんですよ、はっきり言って。

だから結局、やっぱり使い込みができとらんということなんですよ。

だから、今度それをせんためには、フル活用、今度は、個に応じたから、自分でできるわけですよ。

自分で家でできるんですよ。

だから、しようと思えば、学校の授業時間と関係なくて物すごくできるわけなんですよ。

しかし、今の中学生の教材と一部小学生ですかね、ちょっとソフトがあるということですけども、それは私から言えば本格的なあれではないですもんね。

そこで、以前もいったときに教育長はそういう利用計画をつくってほしいと言ったら、今後と言われたんですよ。

それは聞いとるんですけども、具体的に利用計画がいつ頃策定をされるのかお聞きします。

議長／松尾教育長

松尾教育長／おはようございます。

GIGAスクール構想により、新しい学習用端末が11月末に全ての学校に配付されました。今御指摘の利用計画についてですが、小学校はもう既に新しい学習指導要領の下での学習が進行しております。

中学校も来年度から新学習指導要領による学習が進むわけですが、この学習指導要領が目指すものは、主体的で対話的な深い学びということで、その実現に向けてこの新しい端末が非常に有効で、学習のツールとなっています。

その授業改善に向けて計画をしていますが、今作成しているのは、この時期までに先生方はこういったスキルをつけてほしい、子供たちには、低学年はこの辺まで、中学年はこの辺までというようなスキルをチェックできるような表をつくっているところでございます。

以上です。

議長／14番 宮本議員

宮本議員／そのスキルの計画ってどうか、そこにソフトはたくさん導入されるか何か、そういうこともあるのかよく分からんですけどもね、今の話ではですね。

だから、もっとみんなが見て、市民の方が見て、これはどんどん使いんさあねって、家でもこがんで使いんよんさあって、そうすると市が用意しとんさあ、金かかるけんが、それはもう独自につくっとんさあとかですよ、そういうふうに見て、あって、扱いんさあ(?)って分かるような計画にしていきたいということをお願いして、以上で質問を終わります。

議長／以上で14番 宮本議員の質問を終了させていただきます。

ここでモニター準備のため、5分程度休憩をいたします。

* 休憩中 *

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

次に、3番 猪村議員の質問を許可いたします。

御登壇を求めます。

3番 猪村議員

猪村議員／皆様おはようございます。

議長より登壇の許可をいただき、3番猪村利恵子の一般質問をこれより始めさせていただきます。

ます。

先日来、各議員からもございましたけれども、昼夜を問わずコロナウイルス、失礼いたしました。

マスクに慣れておりました。

外すと（？）ちょっと恥ずかしいですけれども、失礼いたしました。

昼夜を問わずコロナウイルス感染症対策に従事くださっている医療関係者の皆様、また、お支えくださる多くの皆様方に心より御礼を申し上げます。

また、お亡くなりになられました方々には心よりお悔やみを申し上げるとともに、いまだ感染症と闘っておられる、闘病生活を送っておられる方々へはお見舞いを申し上げ、一日も早い回復を心よりお祈りを申し上げさせていただきます。

依然として続く感染症感染者への誹謗中傷、心ない言葉や嫌がらせを受け、つらい思いをされている方々がたくさんいらっしゃるとの報道が日々続いております。

9月議会の冒頭でも申し上げましたけれども、するほうが悪い、いじめもそうですけれども、するほうをかばっているのは解消の糸口は見出せない、自分がコロナに感染したら自分の大切な家族がもしと、自分事として考え、まず、私たち一人一人が心の中で思いやりや感謝の鐘を鳴らしていこうではありませんか。

そして、次に、第3波が押し寄せ、流行期、医療破綻に陥る自治体に、自衛隊要請まで出る事態となっていることは皆様も御存じのとおりだと思います。

私が気をつけていること、小さなことですが、ポケットに消毒液を入れております。出かけるとき、そして買い物をしてお金を触ったときでも、すぐポケットから出して消毒ができる対策を取っております。

出張に行くときでもそうです。

自分にもする、一緒に同行された方にもする、それを心がけております。

毎月、福祉課から市報に、コロナ対策に対する注意喚起を促すポスター、レジュメじゃないですけれども、用紙を入れていただいております。

本当にありがたいことです。

もし、予算が許すならば、こういう消毒液をですね、子供たちに配る、高齢者さんに配る、そういったことも一つの命を守る手だてではないでしょうか。

もし、予算があればですけれども、また、こういうこともレジュメの中に、保存版の中に入れていただければというふうに思っているところであります。

小さなことかもしれませんが、自分の命は自分で守ることがどれだけ大切なのかということを感じております。

この消毒液1本で、ひょっとして感染が防げるかもしれない、かもですけれども、そういったことでぜひお願いしたいというふうに思うところでございます。

それでは、質問に入らせていただきます。

今回、子育て支援について、子育て総合支援センターについて、保育士不足について、それから、ほかの議員さんからたくさん質問が出ておりますけれども、事業者支援について、緊急つなぎ給付金について、今後の支援について、それからこれもそうですけれども、新幹線開業に向けた取り組みについて、高架下を含めた駅周辺の整備の進捗状況について、計画策定等について、今日は質問をさせていただき、議論を深めていきたいというふうに思っております。

それでは、まず初めに、子育て総合支援センターについてでございます。

北方にあります子育て総合支援センターの取組について、それから、保育士不足についてをまず、質問をさせていただきます。

初めに、子育て総合支援センターについての事業内容について、改めてですけれどもお尋ねを申し上げ、最初の質問にさせていただきます。

議長／牟田こども教育部長

牟田こども教育部長／おはようございます。

子育て総合支援センターは、子育て中の親子がいつでも気軽に相談できる場所、親同士をつなぐ役割として事業を実施しております。

主な事業の内容ですが、子育て中の方を対象とした事業といたしまして、子育て総合支援センターや公民館や学校等での広場事業、父親の育児イベント、妊婦対象の教室、フェスタの開催、それから、お子さんの一時的な預かりやお子さんの送迎を行うファミリーサポートなどを実施して、子育てをする方の孤立を防ぐことにもつながっております。

また、子育て支援者の研修として、子育てサポーターの養成講座、そして市役所の手続中にお子さんを抱っこする抱っこボランティアの研修や、子育てサポートの研修、保育士等を対象としたスキルアップ研修などを実施して、子供たちに関わる方々の質の向上を図り、子供の幸せにつながることを目指しております。

これらの事業を、ホームページの子育て情報サイトやブログ、そして子育て通信くすくすなどでも発信をして、多くの方に御利用をいただいているところです。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

多岐にわたり、子供や、そして親支援、土曜日まで開設をしていただき、相談事業も民間とつながるシステムを取っていただいているということに対して敬意を表したいところござ

います。

市長の政策一丁目一番地は子育て支援ではなかったかというふうに思っておるところでございます。

なぜ私がこのような質問をしたかと申しますと、ある子育て中のお母様とお話をする機会がございまして、そのお母様がこうおっしゃったんです。

私は結婚して子供ができなかったと。

やっと子供を授かって出産をしました。

それが、障害がある子供ですとおっしゃいました。

手続やら検診やらで市役所を訪れたり、保健師さん、それから福祉課の皆さん方にいろいろ教えていただきながら、その中で子育て総合支援センターがあるから、そこに行ってみませんかとお声をかけていただいたそうです。

そこで行って、そして、その職員の皆様方に非常によくしていただいて、そして、そのお母様が、自分と同じ障害のある子供さんをお育てになっているお母様方とお話がしたいというようなことをセンターで申し上げられたそうです。

そこで、そうですかということで、支援センター長をはじめ、職員の皆様がいろいろ試行錯誤してくださって、そういう一緒の障害をお持ちのお母様方と懇談ができる機会を設けてくださったそうです。

そして、そのお母様がよかったと、自分の周りにそういう方がいらっしゃらなかったから、自分の子育てが非常に不安で、話を聞いたりできる場所があるとは知らなかったから、ここに行かせていただいてよかったと、そういうお話でした。

そして支援センター長をはじめ、職員の皆様にお礼の、電話で失礼だったんですけれども、そういうお声をいただいたんですよということでお話をいたしました。

そしたら、センター長が、非常にいい講座ができて、これを継続したいなというふうにおっしゃってくださったんです。

これは市長が目指す伴走型のきめ細やかな子育て支援の施策の一端が開いているのではないかと、私は非常にそのとき感動を覚えました。

市長、このお話を聞いて、どのようにお考えになられるでしょうか。

一言、頂戴できればというふうに思います。

議長／小松市長

小松市長／私は従来からしつこく言っておりますのが、どんな境遇であっても、環境であっても、安心して子育てができるまちを目指そうということは繰り返し、しつこく話をしております。

本当に今ありがたいお言葉をいただきまして、これは私が何か指示をしたわけではなくて、現場で考えて、そして創意工夫に取り組んで、センターでいただいたということで、大変我々も励みになるお言葉をいただいたなというふうに思っております。

社会において障害がある、あるいはなかなか家の経済環境も厳しいと、様々な皆さん事情を抱えていらっしゃる、むしろそれを足し上げると、そちらのほうが多マジョリティなんじゃないかと思うことさえあります。

これからも、その部分を引き続き大事にしていきたいと改めて思った次第です。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

非常に困難を抱える、また、コロナ禍でもあります。

先行き不安な時代になって、そして子育てについても非常にお悩みのお母様方、御家族の方がたくさんいらっしゃるというふうに思うところでございます。

困難を抱える子供たちや親支援について、今後、そして今も含めてですけれども、どのようなことを考えられているのか、取組をお聞かせください。

今回は支援センターに限ってでございますが、お聞かせください。

よろしく願いいたします。

議長／牟田こども教育部長

牟田こども教育部長／困難を抱えていらっしゃる方の支援ということでございますが、障害を持っているいらっしゃるお子さんへのセンターの事業の取組については御紹介をいただいたとおりでございます。

子育ての悩みや気持ちの共有ができたと非常に喜んでいただいております。

そのほか、多胎児を育てていらっしゃる保護者の方もいらっしゃいます。

一人でも子育てするのは大変な中、多胎児を育てるということで、大変な御苦勞もあられることと思っております。

その多胎児を育てる方を対象に、毎月、子育ての楽しさとか悩み、それからお互い育児法などを情報交換をするためのサロンも開催をしておりますし、また、ファミリーサポート事業については利用料を減額したりすることでそのような困った方、負担があられる方の子育て負担の軽減も図っているところでございます。

その他、センターの職員も非常に頑張っておりまして、利用者の声に耳を傾けて相談、各機関への調整などを行っているところでございます。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

多胎児支援も手厚く取り組んでいただいているとお話を聞いております。

非常に、先ほども申し上げましたけれども、コロナ禍でもあります。

いろんな多岐にわたる相談などもあるというふうに住じております。

どうかこれからも伴走型、そしてしっかりと寄り添っていただく事業に取り組んでいただきたいということ、それから、職員の皆様の取組に感謝、敬意を申し上げるところでございます。

次にいかせていただきます。

保育士不足についてでございます。

なぜ保育士不足のことについての質問にするかというところでございますが、先ほどの障害をお持ちの児童さんのお母様が働かなければならない事情がおりになり、保育園を訪ねられたそうです。

そうすると、やはり障害をお持ちなので加配が必要になってくると。

それから、すぐにその加配が見つかるか、職員が保育士が見つかるかどうかははっきり分からないんですよというお答えを、何園も回ってそういうお答えをいただかれたそうです。

そのようなことで、市内の保育園、幼稚園、認定こども園の数について、まず、お尋ねをしたいと存じます。

よろしく願いいたします。

議長／牟田こども教育部長

牟田こども教育部長／武雄市内の教育・保育施設ですが、保育所が4園、認定こども園が12園、幼稚園が2園、地域型保育事業が1園、合計19園の施設がございます。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／次に、質問をさせていただきます。

市外からの利用も含めた園児数や保育士等の数について、重ねてですけれども、お尋ねを申し上げます。

議長／牟田こども教育部長

牟田こども教育部長／利用児童数ですが、市外からの広域利用を合わせて、12月1日現在で2,002名でございます。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

重ねてお尋ねを申し上げますが、市内の保育施設、園児、保育士等の数は適正であるか、武雄市内の数は適正なのかお尋ねをいたします。

議長／牟田こども教育部長

牟田こども教育部長／市内の保育施設等の利用定員は1,945人ですが、保育所定員の弾力的運用という制度がございまして、定員の120%までの受け入れをすることが可能となっておりますので、武雄市の施設の数と利用定員は適正であるといえると考えております。

また、市内の教育保育施設の保育従事者数ですが、370名おります。

保育所の配置基準により、職員配置を確認して入所を決定しておりますので、利用児童数に対しては適正であると言えます。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／数も保育施設も適正だということでもあります。

しかしながら、なぜだか保育士不足は全国的な問題になっております。

これを御覧くださいませ。

就業継続、なぜ保育士の就業を希望されないのか、少ないのか。

これが就業継続の場合ですけれども、責任の重さ、事故への不安ですね。

再就職の場合が、就業時間が希望と合わない、休みがなかなか取りにくいというようなことも先生方からお話を聞くところでございます。

そして何よりも、処遇改善と処遇改善と言われるところの大きなところが、賃金が希望と合わないというところでございます。

私が勤めさせていただいているとき、もうかれこれ40年ぐらい前になりますけれども、そのときと数万円しか上がっていないんです、幼稚園、幼稚園の先生方の報酬。

国も一生懸命取り組んでいただいておりますが、先生方お一人お一人の懐が厚くならない、そういう実態があります。

ここにもありますが、休暇が少ない、休暇が取りにくい。

そして、保育士の必要（？）に関する広報としては、私はここ、非常に大きいなと思ったのは、業務に対する社会的評価が低い。

家にもって帰る仕事がたくさんあります。

日案、週案、月案、お便りも毎日あります。

そして、新聞も出されている保育園、幼稚園もあります。

作らなければなりません。

月初めに発行する園の新聞などもございます。

その労働に見合う対価が支払われていないというような実情が大きいのではないかというふうに思うところでございます。

なおさら、このような場合では、障害をお持ちの子どもさんを園に預ける場合、いいですよと園もなかなか言いづらいところがあると思います。

すぐは保育士は見つからない場合がたくさんあると思います。

これは保育士を短大、それから、養成学校で卒業した保育士さんが保育所に就職をするというのが約半分ですね。

それから、幼稚園や保育所、障害者施設に就職をされるという方もいらっしゃいます。

しかしながら、右を御覧ください。

1年未満が10%、1割ですね。

3年未満、5年未満、10年未満。

10年お勤めになられる方々が80%で、もう10年未満で辞めていかれるんです。

なかなか続かないというところが現状であります。

私の友人も、この年になってパートで勤めているよという声もあります。

主任をしている人もいらっしゃいます。

働き方は、本当に千差万別、地域によっても報酬が若干違ってくるところではあります。

本当に園側も努力されている、国ももちろんですけども、しかしなかなか、潜在している保育士がたくさんいらっしゃる。

これを発掘しなければならない。

私もそうですけれども、潜在している保育士を発掘して、何とか保育園、幼稚園、認定こども園に勤めていただきたいというふうな取組が全国各地でも行われているところでございます。

武雄市においても、平成30年に潜在保育者のための再就職支援セミナーの開催を前センター長、吉牟田センター長の肝いりでリカレント教育をしていただいております。

この内容と実績をお尋ねをいたします。

議長／牟田こども教育部長

牟田こども教育部長／平成 30 年度実施をいたしました、潜在保育者のための再就職支援セミナーでございますけれども、効果といたしましては、再就職を支援いたしまして、市内の保育施設等への就職につなぎ、円滑な入所につなげるというのが、そういう効果がございました。

実績といたしましては、セミナーには 15 名受講していただき、5 名の方が再就職をしてくださいました。

議長／3 番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

講座をたくさん開いていただきながら、そして、15 名受講をされて、5 名が実際にもう現場に出られているという、3 分の 1 は就職をされて現場で働いてくださっている、非常に有効な講座ではなかったかというふうに思っております。

保育士不足解消に向けた今後の取組でございますが、先ほどのリカレント教育、潜在保育士の発掘セミナー、こういったところも踏まえて、今後、保育士不足解消に向けた今後の取組、そういったところはどのようにお考えかお尋ねをいたします。

議長／牟田こども教育部長

牟田こども教育部長／潜在保育者のためのセミナーは 30 年度から開始をしておりますけれども、昨年度についてはセミナーを修了された方、再就職をした方を対象にフォローアップの研修をさせていただきました。

5 名の方が受講されております。

そして、今年度ですけれども、非正規の方、非正規の保育者の方を対象にスキルアップセミナーを開催しております。

14 名の方が受講をされておりますけれども、保育者としての質の向上を図って、離職防止、待機児童防止につなげるために開催をしているところでございます。

そして、佐賀県保育士・保育所支援センターとの連携で、来年 2 月 10 日に保育士就職支援セミナー、おしゃべり保育カフェが武雄市で開催を予定されておりますので、こういったところとも連携をして、保育士不足解消についての取組をしております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

出ました、この佐賀県の保育士・保育所支援センター、これも私、全然知らなくて、こういうのがありますよと教えていただいて見させていただきました。

この全国的にも各県、今、この保育士・保育士保育所支援センターをホームページを開きますと、保育士不足等々で検索いたしますと、このセンターが出てきます。

マッチングをしたり、保育士さんと保育所のマッチング。

それからアドバイス、こういったことを佐賀県では県の社協が取り持っていていただいております。

これは、この事業を聞いたときに、ああよかったと思いました。

こういうのが県でもあるんだ。

ぜひ、加配の補助金はあっても、保育士がいない、保育士を探せない、そういった園の要望、そして、働きたい人が働ける場、そういったところをうまくマッチングする、この県との連携。

そして、私は、子育て総合支援センターが武雄市、そして、この西部地区のこの保育士・保育所支援センターの核になってほしいというふうに思うところでございます。

こういった事業を県と連携する。

そして、市としても保育士をしっかりと確保して、そして、後でも申し上げますが、新幹線で長崎とつながります、28分で。

そして、長崎には、後ほども申し上げますが、たくさんの学校があります。

大学との連携、高校も77校、大学も10校、専門学校も22校ある中で、この保育士、いろんな人材の確保を武雄市もしなければならぬ時期に来ているというふうに思います。

体制づくりについて市長はどのようにお考えかお尋ねいたします。

議長／小松市長

小松市長／まず、保育園とか幼稚園など、保育従事者の皆さんにはこのコロナの中で本当に子育ての最後の砦として、感染リスクと戦いながら日々従事していただいていることに対して、まずもって改めて感謝を申し上げたいと思います。

その上でなんですけれども、今、お示しいただいたこういったマッチング、県のマッチングなどもうまく活用して、先ほど部長も答弁しましたとおり、私たちとしては、保育士、保育園、幼稚園、現場が大変厳しい状況であるというのは私も把握しておりますので、しっかりと連携をして、一人でも多くの保育士の確保に努めていきたいと思っております。

新幹線の話をおっしゃいましたけれども、新幹線開業で、昨日も申し上げましたけれども、武雄の交通は便利になります。

長崎との直接のつながりができたりですね、佐賀方面の特急も増えるということで生活の利便性は上がる。

ただ利便性が上がるだけではやはり定住・移住にはつながらないと思っております。

猪村議員が先ほどからおっしゃっていますとおり、子育ての安心、どんな境遇であっても安心して武雄であれば子育てができると、そういう環境も併せて初めて定住や移住にもつながると。

やっぱり新幹線の効果、定住・移住というのが最大限になると思っております。

子育て支援センターは、私も子供が小さいときにも、特に妻と子供が利用しましたけども、本当にありがたいセンターだなというのは、一市民の立場としても思いました。

まさに、そういう意味で、西九州のハブ都市と言っておりますけれども、この佐賀西部の子育ての核として、これからも子育て支援センターの機能をさらに充実させていただきたい。これが新幹線開業の効果と重なると、いい相乗効果が生まれるんじゃないかと思っております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

本当に市長がおっしゃるとおり、長崎、福岡、それから、利便性がよくある便も増える。

そういった面で、子供たちがどんどん、どんどん育っていく。

そして、武雄に住みながら通うことができる。

後の話にもなりますけれども、そういったところで定住を進めていく上でも、土地（？）分譲したときに若い子育て中の方々に、どうぞ移り住んでください、来てください、そして地元の方にもどんどん住みよくなりますよという中でも、保育士不足、そして、園が行き詰まるとどうしようもないところでございますので、そういった面でも、ぜひよろしく願い申し上げます。

それでは、次にまいります。

事業者支援について。

緊急つなぎ給付金についてでございますが、昨日、牟田議員さんからもありました、先ほどの宮本議員さんからもございましたけれども、私も牟田議員さんと全く同様の質問でございまして、緊急つなぎ給付金について、まず初めに、この4月20日から5月29日までだったでしょうか、緊急つなぎ給付金を給付していただいて、そして、法人、中小企業、それから、個人事業主の方々にいち早く支援をしていただき助かったというような声もたくさんあると

他の議員からも一般質問等々で出されておりました。

この緊急つなぎ給付金について、再度ではございますが、お尋ねを申し上げます。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／武雄市の緊急つなぎ給付金の実績ということでの御質問かと思えます。

この緊急つなぎ給付金につきましては、申請期間を4月22日から5月29日まで受付期間を設けておりました。

給付件数につきましては、855件、金額にいたしまして1億5,309万2,000円の支出となっております。

内訳といたしましては、法人事業者が163件、個人の事業主様から692件の申請をいただいております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／ありがとうございます。

中小企業から163件、個人事業主さんからは692件というような報告をいただきました。

なぜこの質問をさせていただくかという、この緊急つなぎ給付金を発令というか、いただいて非常にありがたかったというお声でございますが、第3波が押し寄せて、そしてまた、移動制限もかけられている中、以前から、コロナが出てから感染症がたくさん出だしてから人の流れが大変少なくなった。

そして、外国からのお客様も来られなくなった。

ましてや、周辺部になる武雄は、いで湯と陶芸のまち、陶芸を営む方、陶芸と一緒にカフェを営む方、そういった方々が周辺部に、町なかにもたくさんいらっしゃいます。

家族経営、牟田議員さんもおっしゃいました、全く同じでございます。

家族経営の方々には雇用調整助成金が受けられないんです。

この家族経営の方々も一緒に生活をしていても、お父さん、お母さん、息子さん、一人一人の生活があるんです。

3人家族でも、個人事業主1件当たり15万、これもありがたいですけれども、この家族の中でも一人一人の生活がある。

3人いらっしゃったら3人の生活がある、2人いらっしゃったら2人の生活がある。

そういった中で、もう少しきめ細かくに支援をしていただけないか、そういったところの要望、声であります。

私はそのように受け取ってこの質問をさせていただいております。

苦しい、年が越せないかもしれないというようなお声でございました。

そういった方々へぜひ支援をしていただきたい、きめ細やかな支援をしていただきたいと思って、重複いたしますが、市長、どのようにお考えかお尋ねを申し上げます。

議長／小松市長

小松市長／ちょうど国の3次補正が閣議決定、昨日されましたけれども、それを見ていますと、おそらく国は一律の直接給付からどうもこう、ある程度、絞って業態変換(?)をする中小への支援とか、そういうふうにシフトしているんだなというのを、私、昨日ニュースを見て思いました。

ただその分、一方で、基礎自治体にはコロナ交付金第3弾ということで、それを交付することで、地域で実情に合わせて対応をしてくださいと。

国はそういう趣旨なんだというふうに理解をしております。

先ほどおっしゃったように、感染が拡大している中で、武雄でも第3波というものが今後、広がっていくかもしれない、そういった状況を見ながら、私たちとしては、これも繰り返すけれども、とにかくコロナの影響で大変厳しい状況に置かれている方を支援をするというのが武雄市の考えでありますので、ここについては状況を見ながら、タイミングを逸することなく、適切な支援をやっていきたいと考えております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／市長、ありがとうございます。

ぜひ、ちゅうちょなく発令していただきたいというふうに思うところでございます。

また、これも、新幹線と、この後に申し上げるところでございますが、陶芸を営んでいらっしゃる方、カフェを営んでいらっしゃる方々、周辺部にたくさんいらっしゃると申し上げました。

それは皆さん御存じのとおりだと思うんですけども、そういった雰囲気の良い、そして、文化と芸術、そういったものの火が消えていくと武雄市の魅力が落ちていきます。

これは間違いなく。

文化は大事です。

芸術も大事。

そして、そういったところに新幹線でどんどんおいでくださいと言えなくなってしまう。

どうかぜひ、市長、今おっしゃってくださった事業をいち早く展開していただき、国、県と連携しても、よろしく、手厚くお願いを申し上げます。

それでは、次に行かせていただきます。

今後の支援についてもお答えをいただきました。ぜひよろしく願いいたします。

それでは、最後の質問ですけれども、新幹線開業に向けた取組について。

これも牟田議員さんをはじめ、豊村議員さん、多くの議員さん方からのいただいているところでもあります。

重複いたしますが、2022年秋に開業。

N700SK、一番新しい新幹線。

私も大好きです。

もう早く乗りたくてたまらないです。

JR新幹線のデザイナー水戸岡さんがデザインをしてくださった。

本当に楽しみで、今度、市報にも2面、掲載されているというところでございます。

先日、11月11日、レールウォークがございまして参加をさせていただきました。

新幹線フル規格で武雄から長崎まで、2年後の秋に開業。

対面乗り換え方式ということでもあります。

そのほかの区間はきまっておりますが、とにかくこの2年間で武雄から長崎まで開業することは間違いないわけですから、もうここに一点集中して、私は武雄の市民の方々にこの機運を一緒に醸成し、盛り上げて、そして、新幹線が開通するなんていう地元に住んでいること自体、私は非常に心躍る、そして光栄なことじゃないかというふうに思うところがございます。

この一点集中して、2年後開通する新幹線に全力投球で、ぜひ各課挙げて取り組んでいただきたいというふうに思うところがございます。

高架下を含めた駅周辺整備の進捗状況についてお尋ねをいたします。

以前も3年前になりますか、私も駅周辺のことについて質問をさせていただきました。

夜降りてくると、暗い、真っ暗ですというふうに申し上げましたけども、最近はいろいろレンタカー屋さん、不動産屋さんといろいろショップができてきて、そしてこの周辺も大変きれいに、***花いっぱい運動委員の皆様方が取り組んでくださって、山口等議員さんもここで花を植えられているだろうなと想像することがございますが、私が写真を撮りに行かせていただいたときも、住民の方が、マルチ(?)をしてるから、水がなかなか花に行かないんですよとあって、自主的にお水をかけに来てくださっているところでお話をさせていただいたところがございます。

私が以前質問をさせていただいたのは、この斜面に泥はだが今見えております。

ここはどうかならないかという質問もさせていただきますが、お願いもありますが、ここが真っ暗で、それは今、お店ができておりますが、この地肌が見えているということも、住民の方々が、ああどがんかな、よかよねというふうなことも、ほかの議員さんのお耳にも届

いているというふうに思いますが、この高架下を含めた駅周辺整備の進捗状況について、この斜面のところにも併せてお答えいただければというふうに思いますが、いかがでしょうか。

議長／野口まちづくり部長

野口まちづくり部長／駅周辺の整備についてということですが、まず、北口広場になりますけど、令和4年秋の新幹線西九州ルートの新幹線の暫定開業に向けて、平成30年度から地元永松地区に市の補助事業、景観形成支援事業を活用いただき、花植え活動をしていただいております。

また、昨年度には市の単独事業にて、北口の花壇の増設を行い、今年度はのり面の擁壁工事も実施してきております。

先月、11月には永松地区の皆さんとボランティアの皆さんで、佐賀県の花と緑を育む地域づくり推進事業を活用され、花壇をさらに広げていただき、たくさんのお花でお出迎えを行っており、令和4年秋の新幹線暫定はもちろん、令和6年度に開催される国民スポーツ大会まで実施いただくことになっており、それ以降も永松区の協力をいただきながら、継続した景観形成活動を行っていきたくて考えております。

また、新幹線の駅舎についても現在、工事が進められている状況ですが、観光地として便利で魅力ある施設とするため、現在、JR九州と協議を行っておりますが、在来線駅舎も含めて利用客が降りたくなるような施設や駅前広場となるよう、市民の皆さんや関係団体と一緒に考えていくことにしております。

のり面については、今後、対応をする予定としております。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／のり面は11月、来年。

ありがとうございます。

それでは、このむき出しになったのり面もきれいになるということでございます。

高架下を含めた駅周辺整備の進捗状況について、周辺は北口のほうになりますが、南口のほうも今からわくわくするような広場になる、利用がしやすい駅の南口になっていくというふうに思うところでございますが、高架下を含めたということで、高架下の活用なんですけれども、ほかの議員さんからもいろいろ質問があつているというふうに思いますが、これは私の提案ですけれども、この右上の写真は2年前に一般質問させていただきました埼玉県三郷市のセナリオハウスフィールド、陸上競技場です。

これが遊水地になっているということで、一般質問をさせていただいたところでございます。

左側に大きな川がありまして氾濫をするというところで、周りが駐車場になっておりまして、陸上競技場ここも遊水地で水につかってもいい施設となっておるところでございます。

この奥に2つフィールドが見えるところが3 x 3の2面コート、手前がスケートパークのコートでございます。

私がここを見たときに、今度の新幹線の高架下にぜひ、こういう若い人たちが集えるような施設、大胆に造ってはどうかというふうに、提案をさせていただきたいというふうに思うところでございます。

コートは平面です。

器具が、このシュートコートですね、これは移動ができます。

スケートパークの台も移動ができる。

災害のとき、そして駐車場活用、そういったものも十分できうと思います。

囲みも何もありません。

こういった若い人たちが新しい新幹線が開通と同時に、こういう佐賀県も3 x 3のチーム、前年度は全国優勝しているチームがあります。

そういったところとの交流なんかも、十分にできるんじゃないかというふうに思うところでございます。

高架下に活用、それはいろいろ考えられるところを皆さん方から今提案をいただいているらっしゃると思うんですけども、3 x 3やローラーパークなど、高架下に大胆に持ってくる、そういったことも一つの案ではないかというふうに思うところでございます。

こういったところに、3 x 3やローラーパーク、こういった大胆な施設を造って、若い人たちに集ってもらおう。

そして、若い人たちが集うことによって高齢者や地域の方々も元気をいただく、そういった相乗効果もあるのではないかというふうに思うところでもあります。

いろんな取組が考えられる中で、市長、こういったスポーツを体感できるこういう活用の在り方、これについていかが思われるでしょうか、お尋ねをいたします。

議長／小松市長

小松市長／今回、高架下については、人に言わせると日本最大級の高架下が誕生するというふうに言う方もいらっしゃいます。

この活用が、大変私は重要なポイントだと思っています。

そういう意味で、先日、千一夜市というのも開催をして、そしてどういう使い方ができるだろうかというそういった社会実験を行いました。

私たちの考えは、造ってから使ってくださいと。

使ってくれるかもしれない、でも、使ってもらえないかもしれないというところがある中で、むしろそこを使う担い手を発掘して、そういう人たちが実際使いやすいように整備を今後していくという、そういう考え方で進めています。

そういう意味で、急がば回れ、結果的にいいものを造りたいというところではあるんですけども、先日ちょうど千一夜市でも、スケートボード愛好会の皆さんに入り口で検温をしたり、ボランティアで様々参加をしていただきました。

そういった形で若い人にも今回、たくさん関わっていただいたと思っていますので、実際そこで使いたい、私たちならこういうふうに使おうと、そういった若い人たちの意見を聞いて今後整備を進めていきたいですし、そういう中でこういった提案も出てくれば、そして実際そこで担い手、そして管理もやると、そういう話があったら十分可能性がある話かなと思っています。

議長／3番 猪村議員

猪村議員／よろしくお願ひいたします。

次に、計画策定等についてでございます。

先ほどからもございました九州新幹線武雄温泉駅開業に向けた魅力創造行動計画、これがあります。

ページをめくりますと、最初に効果、それから工期、こういったものが出てまいります。

先ほど申し上げました高架下の空間の整備でございますが、ここに挙げられているのはデジタルサイネージの設置とか、乗換ホームに観光パネル等の設置、駅通路内の誘導案内表示、レンタサイクルの充実などが挙げられております。

これらも大変重要なことでありますが、もうあと2年で開業でございます。

急がなければ市民の皆様方と一緒に機運を上げて、そして市民の皆様方も共に喜べる、共に祝える、そして参加をしていただく、そういった事業に持っていく。

わくわくするような事業を提案するこの行動計画が市民全体のものになっているかどうか、そういったところが危惧されるところでございます。

そういった市民と一緒に味わえる計画、そういったものがここに薄いような気がしてならない。

そして、時間も押しておりますので、先ほど申し上げました定住促進の、スクロールして一番最後にここが出てきます、6番目。

往復切符の往復割引切符等の検討、通勤通学向け新幹線乗換え割引、そして4のところには新幹線通勤者向けの支援、そこにも新幹線利用者向け通勤通学への助成とあります。

私は、先ほど市長もおっしゃいましたけれども、一番最後にこれがありますけれども、私は

これは大きな契機になるというふうに思ってならないんです。

コロナ禍で子供たちが多くの不安を抱えている、親御さんもしかり、みんながそうです。

その中で、新幹線が長崎まで行く、28分で。

そして、博多にも便数が増えます。

佐世保にも便数が増えます。

そういった中で、この長崎への大学へ行こうと思った子供たち、10校あります。

高校に行こうと思う、77校あります。

通えるんです。

専門学校も22校、長崎の県内にある。

そういったところで子供たちが学ぼう、そして、生き生きと暮らせる夢や希望を持ってスポーツをしに行く、塾に行く、何かやりたいことが叶う、そういったところに今来ているこのわくわくする武雄市。

そういったものでこの子のところ(?)、非常に私は重きをおいていただきたいというふうに思うところがあります。

全体で、市民の皆様全体でこの2年後開通する長崎まで行く西九州ルート九州新幹線、これをみんなで、市民みんなで喜びたい。

そういった中で計画を急いでいただきたい。

そして充実して、これよりも、これに足して、そして急いで進めていっていただきたいというふうに思います。

この答弁は、先ほど市長から頂戴いたしましたので、答弁は差し控えます。

次に、最後です。

これは11月23日にフィンランドサウナが行われ、私も時間が都合が合った時間、最後の辺りになりましたけれども行かせていただきました。

大変素晴らしい、写真を友達に送るとうわー、すごいねっていう、行ってみたい、サウナは借りらるっとね(?)という声もありました。

最後に市長にお尋ねですけれども、アンダーツーリズムという言葉が雑誌に掲載されておりました。

混雑した地域を避け、知名度はなくても、低くても、オリジナルの地域性や歴史を持つ穴場スポットを旅する、あるいは有名な場所でもオフシーズンを選んで訪れる。

こういった新型コロナの感染拡大は、社会に様々な課題をもたらし、新たな価値観への変容が求められる中、アンダーツーリズム、これは人類が導き出すべき一つの答えです。

コロナ禍は、人間が不自然な歩みを続けることへの一つの使者(?)なのかもしれませんとあります。

このことについて、市長どう思われるか、この答弁をいただいて私の質問を終わらせていた

だきます。

議長／小松市長

小松市長／全体のツーリズム、旅行形態が極めて大人数で、そして観光名所を回るところから、それぞれ個人個人、F I Tと言われますとおり、個人個人でむしろそれぞれの土地、土地、その土地にしかないもの、その地域の生活に触れたり、自然に触れたり、そういった旅行スタイルに転換をしてきていると思っています。

コロナがそれを加速させたというふうに私は思っております。

先ほど、乳待坊公園の写真ありましたけれども、市内にはほかにも、キャンプ場であれば眉山キャンプ場であったり、本当に魅力的なところがたくさんあります。

新しいものを持ってくるだけではなくて、今あるものをしっかりと生かして、あるものを生かしてないものをつくるという視点で、このアンダーツーリズムというのは大事だと思いますし、私たちはそういう視点でも今後の観光振興を図ってまいりたいと考えております。

猪村議員／ありがとうございます。

終わります。

議長／以上で3番 猪村議員の質問を終了させていただきます。

ここでモニター準備のため、5分程度休憩いたします。

* 休憩中 *

議長／休憩前に引き続き会議を開きます。

一般質問を続けます。

次に、7番 上田議員の質問を許可します。

御登壇を求めます。

7番 上田議員

上田議員／皆さんこんにちは。

ただいま議長より登壇の許可をいただきましたので、これより7番上田雄一の一般質問を始めさせていただきます。

今後の方向性についてということで、今回も通告をさせていただいておりますので、早速質問に入りたいと思います。

今回、危機管理について、まちづくりについてということで、中項目、小項目を出させていたいただいております。

それでは、早速質問に入りますが、あらかじめ申し上げておきますけれども、交通事故というのは誰にでも起こる可能性があるものでありますし、いつ誰に火の粉がかかってくるかも分かりません。

こちらが十分に用心をしても、もうら事故等々もありますので、そこはあらかじめ申し上げておきながら、この質問に移りたいと思いますけども。

ここにいる皆様も、御案内のとおり、ほとんどの定例議会だったり、臨時議会だったり、事故の報告、または専決の報告等々があつてるかと思ひます。

過去にも平成 27 年 12 月の議会でもこのような形で取り上げたことが私自身、あるわけでありまふけれども、皆さんも常に、今後、このようなことがないように再発防止に努めまふという話を耳にされた方もたくさんいらつしやるんじゃないかなと思ひまふけれども。

改めまして、合併後の事故発生状況の推移をお伺ひしたいと思ひまふ。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／職員の公用車による事故ということで、たびたび議会の折に御報告させていただいております。

今、画面にもありますように、今後このようなことがないようにと、再発防止に努めまふということで、その都度、述べさせてもらっている状況ではあります。

この場を借りて再度、この辺を注意徹底（？）していきたいというふうにお思ひしております。御質問の公用車の事故でありますけれども、文書の保存年限の確認上、26 年度からしか分かりませんでしたけれども、26 年が 18 件、27 年が 21 件、それから、28 年が 21 件、29 年が 18 件、30 年が 16 件、令和元年が 7 件、それから、今年度ですけれども、11 件ということになっております。

議長／7 番 上田議員

上田議員／ありがとうございます。

できれば、評価なんかしていただければ非常にありがたかつたかなと思ひまふけれども、やはり、非常に多い事故件数ですね。

今回、この質問を取り上げたきっかけとなつたのが、実は、私も過去に公用車と事故しそふになつたことがあるんですよ。

どちらが悪いとか云々はちょっと抜きにしておいて、つい最近も、ちょっと本当にひやつと

したわけでありまして、公用車の運転をされている方が一切それを気づいてられなかったんで、私はどきっとしてぱっと見たら、右折帯を右折だったので、こっちが優先道路だったので、私もこう、ただ、対向車もいましたのでね、そこで待っていたら、対向車が通り過ぎたので私が先に行こうかなとしたら、もうそっちがびゅーって出てこられて、わっと思ったときに車の側面部に武雄市って入ったわけですね。

こういう経験の話を、ちょっと私の知り合いのところまで話をしたら、いやおいもあるよ、おいもあるよっていう話を結構、聞いたものですから、やはりちょっといかなんと思いがら今回このような質問をさせていただいたわけです。

今回、基本、私どもが事故等を起こして保険を使うということになると、保険金が、掛け金が上がったりするんじゃないかなと思うわけですけど、今回、武雄市の公用車がこれほどたくさん事故等々、物損だったり人身だったり、いろいろ件数も大小様々あるかと思いますが、市の掛け金のほうの推移というのはどうなっていますか、上がったりするのでしょうか。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／公用車の保険、任意保険につきましては、全国市有物件災害共済会に加入しております。

掛け金につきましては、公用車の車種、年式等によって異なりますけれども、1万円から4万5,000円程度、この分については車両保険も込みということになっております。

事故を起こした場合の金額ですけれども、この場合については、事故をした翌年についても掛け金について上がることはございません。

議長／7番 上田議員

上田議員／それだけの事故発生件数の割には掛け金は上がらないということで、保険会社さんも大変だろうなと思いがらですね、分かりました。

とにかく、ある人からもよく言われました。

最近、たるんどりゃせんかというような言い方をされる方もいらっしゃいましたので、ぜひ再発防止は徹底をしていただきたいなと思います。

今回、武雄市、今回、ここに出しているのは、佐賀県警察本部と佐賀県バス・タクシー協会、今もう、車の後ろにこのマークが、後ろのほうにもついているのをよく拝見をするわけですけども、武雄市での取組として、武雄市も今回、「横断歩道で止まります。」それ、武雄が始めますというふうな取組をされたかと思えます。

先ほどの質問の説明ではありませんけど、今回、こうやって車の側面部には武雄市という表記があるんですけども、やはりもう、看板を背負って、武雄市という看板を背負って走っている公用車を運転される際は、その危機感をもっと上げていただいて、大きな事故につながらないように考えてほしいなど。

今回、ちょうどいいタイミングでこの武雄「断歩歩道で止まります。」これ市民の皆さんから言わせると、横断歩道で止まるのは当たり前やろうともんという言い方をされる方もいらっしゃいます。

私も最初、見たときそうだなと思ったんですけど。

ただ、今回、この「横断歩道で止まります。」のステッカーとかあるので、このように車の後ろにもとにかく、常にどこから見てもこの車は公用車ですよと、私も先ほど話をしましたけど、ちょうど偶然、交差点で出会い頭にあったときに、横に武雄市と入ってたっていうぐらいでしか気づけなかったもので、もうどこからどう見ても公用車ですよっていうぐらい看板を背負って事故の発生防止にぜひ努めていただきたいと思いますけれども、これについて御答弁をお願いします。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／議員御提案の公用車での武雄市表示につきましては、今後、前向きに検討していきたいというふうに思います。

議長／7番 上田議員

上田議員／前向きに検討いただくのはありがたいですけど、もう今作ってあるプレートを後ろに貼って、もうとにかくどんどん行だけやけんでうね、お金もかかりませんので、もう出来上がらう分（？）でしょう。

ぜひ実施して、とにかくもう事故が可能な限り少なく済むように、ぜひお願いしたいと思ひまして、次の質問に行きます。

次に、コロナ対策。

危機管理のコロナ対策です。

これは前回の質問でもそのまま使っております。

外出自粛が当初ありまして、それが解除になりました。

ただ、今でも本当に医療現場の皆さん、介護現場の皆さんは、本当に身を削る思い対応いただいておりますので、本当にありがたいなと思いますけれども、このような形で、第1波、第2波ということで、なかなか売上げ的に戻ってこないという地域の相談をいただいたわけ

ですけれども。

これが前回、9月議会のときに、市役所の職員さんの動向はどうなっていますかという質問をさせていただいたかと思います。

その当時、9月議会のときには、部単位や課単位で、万が一感染者が発生したときのリスクを考えて、そういう単位での会食等々はNGですけども、例えば同じ趣味を持つ人たちとか、例えば同期とかいうような課をまたいで、横のつながりの分は全然オッケーだという話を答弁いただいたかと思いますけれども。

3か月たって、つい最近の状況も踏まえて、3か月たった今の市の見解、方針をお伺いしたいと思います。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／今、議員御紹介ありましたように、9月議会のときにも同様の答弁をさせていただいておりますけれども、一旦、コロナ関係が収束というか、落ち着いてきている状況も見えましたので、11月に一旦、部単位の会食等（？）については一旦、解除したところではありましたが、再度、コロナ関係が広がったということで、再度11月19日付で前回、御紹介のと通りの、コロナ感染拡大防止という観点で、市役所業務の継続性の観点から、部単位、組織単位での全員参加型の会食については改めて制限をかけたというところがあります。

ただし、地元経済の活性化を図る上でも、感染リスクに配慮した小規模、個人的な会食について、そこについては制限をかけていないという状況になっております。

議長／7番 上田議員

上田議員／人数とかの制限も今のところないわけですか。

議長／山崎総務部長

山崎総務部長／あくまでも業務継続という観点から、人数という考え方はいたしておりません。

議長／7番 上田議員

上田議員／私の聞き間違いだったのかなと思います。

4人までしか駄目よとかですね、そういう話をちょっと耳にしたような気がありましたので、今回、質問をしたわけでございます。

というのも、飲食店の皆さんもそうですけども、これから年末商戦、年始商戦、本当にかき入れ時にコロナでいろんな制限がかかっていると、もう本当にまちは疲弊がもっと激しくなってくると思います。

もうとにかく年末商戦で売り上げ取らんと、もたんというような人もたくさんいらっしゃると思うんです。

私も実は商売人で、年末年始はもう本当に寝らんごと商売ばせんばらんやった(?)時代もありましたので、その気持ちが十分、分かるもんですから。

特に、飲食店の皆さん等々は、市役所の職員の動向というのを物すごく気にされているんですよ。

市はどがんなつとうとって。

それにならって民間企業もやられたりするって、対応されたりするという話も聞きますので、極力ですね、対策を打って感染拡大防止、もちろん感染拡大防止は徹底の上ですけども、やっていただきたいというところでもあります。

今回、これも前回の質問でさせていただきましたけれども、私どももここに、このアクリル板に囲われているところはマスクをしておりますけど、あとは皆さんマスクをしながら、フェイスシールドの方も、今日はしてらっしゃいませんけども、フェイスシールドをされているときもいらっしゃいました。

施設、事業所等は手指消毒だったり、検温だったりということで、取り組まれております。競輪場の事例を紹介しながら、このようなサーマルカメラの導入をということで、9月議会にさせていただいたんですけど、その中で、新型コロナ対策地方創生臨時交付金で、2,000万円の新生活様式導入支援補助金ということで実施をいただいて、それが全然足りないということで3,000万追加補正を、合計額5,000万ということでありましたけれども、これもいろんな使い方で、本当に助かったという声をたくさん聞いております。

これもとある市内の飲食店ですけれども、アクリル板を正面の皆さんとの非接触、飛沫防止、感染対策として、このようなアクリル板を設置されて、この奥には有名電機メーカーの空気清浄機で、この周りに煙ば少し出してみらんですかって、物すごくセンサーが反応して、対応がちゃんと始まりますからということで伺いました。

これもしっかりした新生活様式のこの導入支援補助金を使っての対策だという話を伺いました。

ただし、これに物すごく、まずこの新生活様式の事業の実績をまずお伺いしたいと思います。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／武雄市新生活様式導入支援補助金についてでございます。

先ほど、議員のほうからも御説明をいただきましたけれども、当初2,000万から3,000万の追加をさせていただきまして、合計5,000万の予算で実施をさせていただいております。

11月2日から30日までということで、当初、申請期間を設けておりましたけれども、予算の上限に達しましたので、早めの11月20日までということで申請を終わらせております。申請件数につきましては、230件でございます。

主に飲食等の事業者様から約半数近くの申請を受けているところでございます。

主なものにつきましては、先ほどもご紹介いただきました換気を促すような機材であるとか、飛沫防止用のフィルム立て等の購入等が行われております。

状況につきましては、申請から1週間ちょっとぐらいにつきましては、非常に多くの方からの申請・問合せ等をいただきましたけれども、後半につきましては、ある程度、落ちついた感じで、1日数件という形で、申請・問合せ等があったところでございます。

その結果、11月20日までで予算の上限に達したということでございます。

議長／7番 上田議員

上田議員／11月2日から30日まで当初は予定していたけど、20日で予算上限に達したので、そこで打ち切ったということでございますね。

本当にそれにしっかり対応された方は本当にありがたかったとおっしゃっていただいております。わけですが、その後ろを繰り上げたことによるものなのか、市内の業者さんには、導入は、まず、この継続の支援を求める声というのが非常にたくさん寄せていただいております。

これについていろんな財源等々の兼ね合いもあると思いますけれども、改めてこの継続を求めることをお伺いしたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／申請の締め切り終了後、私のところにも数件、お問合せ等があったことは事実でございます。

強くは求められていないという状況でございました。

これにつきましては先日も答弁させていただきましたが、状況を見ながら、現時点では、今のところ継続の予定はございませんが、この状況を見ながら、必要に応じて、ここはスピード感を持って対応をしていきたいと考えております。

上田議員／強く言える人は多さなかと思うです。

支援をお願いしますと言いようとにですね、なかなかあれでしょう。

今回、私のほうにもですね、相談というか、あったのが、この支援を当てにして導入をしたと、数十万をかけてですね。

ただ、これがその支援を当てにしてというとおかしいですけど、それを見込んでやったにもかかわらず、締め切りに間に合いきらんでということでいろいろ相談もあったわけです。

繰り上げの部分でしたことで間に合わなかった部分もいらっしゃるかと思いますけれども、せめて導入をされた時期は実績としてもう分かるわけでしょうから、その期間内に導入されているところはもう、ちょっと対応をしていただくような、ぜひそういう対応も取っていただきたいなと思います。

これについては答弁、先ほどスピード感を持って対応をいただくということでしたので、ぜひそこも考えていただきたいなと思います。

次に、コロナ禍による学校教育現場の対応ということで質問をさせていただきたいと思えます。

第1波では、皆さん御案内のとおり月をまたぎますけれども、25日程度の休校が武雄市でも実施をされたところでありまして、武雄はICTを活用してトップランナーとっていいのかどうか、私はトップランナーに近いところにいるだろうなと思いつながりながら対応いただいたわけでございます。

とにかく、そのような武雄市の教育環境の中で、学校の先生たちは、学校が休校だから何もしらんとするわけでは当然なくて、各家庭の環境がそれぞれ児童も違う中で、先生方もいろんなアイデアを出しながら、在宅、自宅にいる生徒、子供たちのことを考えながらこういうSNS等を使って発信をして、元気出してよとって、学校で先生たち待ってるよというように取組、家の中でこういうことをしながらでも体を動かしてみたらどうだみたいところで、本当にありがたいなと思いつながりながら見ていたわけでございますけれども。

子供たちが今回、休校で学校が休みになったりした。

今はもちろん通常通りで学校、子供たちは元気に登校しているかと思いつけれども、学校の先生方もコロナによっていろんな環境が変わったんじゃないかなと思うわけです。

特に今回は、ちょっと取り上げてみたいなと思いつたのが、コロナの始まる前と後の先生方の出張の状況ですね。

研修だったり、出張もいろいろあるかと思いつけれども、この状況というのはどのような変化が起きているのか答弁願いたいと思いつます。

議長／松尾教育長

松尾教育長／研修とか会議ですね、そういった教職員の出張については、主に県の教育委員会が企画、計画をしているところがございますけれども、年度当初のこういった出張の予定は291件でございました。

それがこういったコロナ禍によりまして135件が中止ということになって、43件が規模縮小というのが、出席者を限定したり時間を短縮したり、あるいは会場を分散して出席者を少なくするというような規模を検討してするというようなことで、会議は大幅に減ったところがございます。

議長／7番 上田議員

上田議員／想像していたとおりの数字が出てきたわけでございますけれども、先生方の出張、研修が多いというのは、もう前々から結構、学校現場の中では問題視もしていた部分もあったわけですね。

今回コロナによって、その辺で数が減少したということで、それが生む効果とすれば、ここに私が書いているように、子供たちと接する時間の増大だなと思うわけです。

でも、我々保護者側からすれば、これが先生方に本来、一番望んでいる仕事だと思うわけです。

もういろいろスキルのアップは先生方にとっても必要ではないかなと思いますけれども、今回コロナでそういう研修、出張が減った中で、学校現場の先生方の反応というのはどのような形で現れているのかお伺いしたいと思います。

議長／松尾教育長

松尾教育長／議員御指摘のように、出張の削減によっていろんな学校の運営、学校教育活動の在り方が今年度は変わったところがございます、私たちが学校訪問をいたして、校長先生をはじめ教職員の先生方と話をするわけですが、やっぱり第一は、子供と向き合う時間がしっかり確保できたというようなことで、多くの先生からそういった意見を聞いているところがございます。

議長／7番 上田議員

上田議員／それでは、今回コロナでこのように出張等々がなくなって、減って、減少して、

現場で不具合等々、何かありましたか。

あったか、なかったか。

この研修がなくなったので、私はせっかくこのスキルを頑張って学ぼうとしていたのにとか
というような現場の声だったりとかもあるかも分かりませんし、これを研修自体をストップ
したおかげで学校現場がこうなってしまったとかというような不具合があるかどうか。

もしないのであれば、私は、このコロナのせいでというとおかしいですけども、コロナに
乗じて、この流れはそのまま継続して、県教委にも、武雄市教育委員会としても声を上げて
いくべきことではないかなと思うわけですけども、これについて答弁を願います。

議長／松尾教育長

松尾教育長／出張の削減が、不具合、影響はあったかということでございますが、いろいろ
意見を聞いておりますが、特に大きな影響はなかったということは聞いております。

ただ、今年から、先ほど申しましたように、小学校のほうで新しい学習指導要領が全面実施
をしております。

来年からは中学校が実施するというので、ちょうど学習指導要領の変わり目でありますの
で、こういったときにはやっぱり研修の必要がありますけれども、そういった研修は少し減
ったということは、私どもは危惧はしておりますが、ただ、それぞれの学校単位で、あるい
は学年単位で自主的に研修をしてもらっておりますので、その辺はカバーができてい
るんじゃないかなと思うところなんです。

議長／7番 上田議員

上田議員／ぜひ特段問題がないのであれば、武雄市教育委員会として、もうこのコロナに乗
じて、もうこの研修、出張は極力減らしていきましょとですね。

ちょっと言うと、特段問題がなかったのであれば、私が考えるのは、そもそも要らんやっ
とじゃなかとというぐらいに感じる部分はああわけですよ。

ですので、ぜひそこら辺で継続をしていただきたいなと思っております。

次に、今回、卒業式とか入学式の式典ですね、我々議会のほうも出席を自粛してくれとい
うことで連絡が入りまして、もちろん皆さん行っている人はいないと思いますけれども、実
は私は今回、中3の子がいて、卒業生保護者の当事者でもあったもんですから今回、卒業式
に出席ができたわけでございます。

常々、もう卒業式の式典はとにかく、ばさらか(?)時間が長いというのが保護者の人たち
からも物すごく声をいただいておったわけです。

今回コロナで、式次第、ちょっと拡大するとぼやけて見えないと思いますけれども、式次第が開式から閉式までもう5つぐらいしかなくなっているというような格好で、生徒たちも卒業生本人だけ、在校生の代表も1人いらっしゃいましたかね、このような形で、入場されるときには検温と手指消毒を学校の先生方が体育館の入場口で待たれておまして、対策されていきました。

このように、来賓の祝辞とかそういうのもなくして、保護者代表の挨拶とか歌関係もなくして、時間短縮で、もうとにかく短時間でしようというような取組がなされておりました。

入場制限も卒業生本人の子供たちとその保護者だけで、来賓は一切入場しない。

教育委員さんはおんさったですね。

大人の人は学校の先生方と教育委員さんがおんさったですけども、そのように入場制限をされておりました。

その後、体育館で式典が終了後、もうそのままそこで解散みたいな対応をされておりました。

このやり方で私に寄せられた保護者の声は、こいでよかやんって、物すごくよかったという声をたくさんいただいたわけです。

卒業生保護者の方しか現場にはいませんからあれでしたけれども、このやり方をやって不具合はどのようなことが何かあったのかお伺いしたいと思います。

議長／松尾教育長

松尾教育長／簡略化された卒業式についての不具合ですけども、特に聞いておりませんでしたけれども、在校生が同じ体育館にいないとか、来賓の方がいないと、そういった中で心に残る卒業式になるかというようなことは本当に心配をいたしました。

ただし、特に大きな、それぞれの学校で先生方が工夫していただいて、心の籠もった式を実施いただいておりますので、特に大きな不具合というのは聞いておりません。

議長／7番 上田議員

上田議員／どちらかという、私も卒業式だったり、入学式だったりというのは行きたいほうなんですね。

自分も行きたいなど。

行ってお祝いをしたいなというような形の気持ちはあるのですけれども、今回、来賓席は誰もおらず、全然このやり方でもいいんじゃないかなと。

P T Aの会長さんの挨拶とかありませんでしたけれどもね、当然。

学事報告の中に知事の挨拶、市長の挨拶、議長の挨拶、P T A会長さんの挨拶、卒業生保護

者代表の挨拶、そのぐらいが学事報告の中に挟まれとったわけですよ。

このやり方で全然いいんじゃないかなというふうに、私は物すごく感じたわけです。

短縮化をすれば。

ですので、ぜひこれも今年の年度末もどういう状況になるか分かりませんので、そのまま（？）コロナ収束してもこのままでいいんじゃないかなというような気しております。

ただ、一つだけ、私が保護者としてお願いがあるのが、この終了後、即下校、ここがですね、やっぱり私は卒業生の保護者としても思ったんですけども、最後のホームルーム、クラスに戻っての最後のホームルームはあってもいいんじゃないかなと。

初めて卒業生を出す先生もいらっしゃると思いますし、もちろん子供たちは初めて卒業をするわけですから、そこに先生たちが最後に、クラスの担任の先生が子供たちに話す言葉というのは大きいものがあるんじゃないかなと思うわけですので、どうせ3密回避といいながらも、終わった後の体育館の外はもうすごいことになったですよ。

とんでもない密状態やったです。

みんなもう一緒に写真撮ろう、写真撮ろうって。

分かりますよね。

当たり前だろうなと思いつつですけども、ぜひここは、これだけ対応していただきたいと思うわけです。

武雄市はもう子供たちの思い出になるように、修学旅行も何とかして実施してやろうとか、運動会を何とか実施しようというような流れの中で、これも一緒かなと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

次の質問に移りたいと思います。

次に、まちづくりについてでございます。

これも千一夜市の画像になります。

武雄市の旧庁舎跡地の駐車場のところで、今駐車場になっているところで、このような社会実験、実証実験が執り行われたところであります。

中央公園ではこのようにテントを張ってキャンプを、これも実証実験の一つとしてキャンプを楽しまれている方もいらっしゃいました。

特に今回、私がよかったのは、先ほどほかの議員の質問の中にもありましたけれども、市長の答弁だったかな、このようにして若い人が、手伝いなのかスタッフなのか、実証実験のスタッフとしてこのような形で頑張っていたのは非常にいいなと思いつつ、駅の高架下の、これは高架下ではありませんけれども、軒下のところでいろいろと出店を出したりやられておりました。

一方で、保養村のほうも行きまして、このテントをずっと撮らせてもらったり、意見交換させていただいてきました。

ここに見えられている方が、福岡の方とか鹿島の方、佐賀の方。

こっちの保養村のほうは武雄の方はいらっしゃらなかったんですけども、1つだけテントに、もうテントは出来上がって誰もいらっしゃらなかったの、1つだけのテントでお話も何も、顔も合わせられなかったんですけども、このようにして、非常に***やられている方からすると物すごく好評でした。

ここはキャンプ場として物すごくいいですよと、ロケーションがとにかくいいということで。でも反対側を見ると、宇宙科学館がどんとあるんですね。

でも、こっち側を見て皆さんテントを、山のほうを向けてテントを立てられておりましたけれども、こんな感じのロケーションですね。

もう家ですもんね、テントの中は。

僕も初めて見させていただいたんですけども、このように、このテントは何々ですよという、家の表札みたいな感じも用意されている方もいらっしゃいました。

これが夜、飲むための、晩ご飯だと言う方もいらっしゃったんです。

これにチーズだけとかという方でいらっしゃいましたけれども。

千一夜市がこのように実際に実施をされて、概要と実績がまず、実証実験とうたってありましたので、まず、概要と実績をお伺いしたいと思います。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／武雄温泉千一夜市でございますが、新幹線開業に向け、駅周辺に生まれる広場や、鉄道高架下等の整備に向けて、既存の公共空間を使って、今後必要となる機能や仕組みを調査し、また、まちなかのにぎわいを創出する目的での実証実験ということでございます。

今回、企画運営から設営等に至るまで、先ほどありましたように委託業者のほか、ナイトタイムエコノミーの実行委員会の皆様や、スケボー愛好会、また、当日の出店者の皆様方が直接担い手になりまして、武雄市役所跡地、鉄道高架下を使った飲食や雑貨の販売の夜市を行いました。

また、来場者の声を聞いて、武雄の未来をイラストに描くコーナーなど、先ほども御紹介いただきました公園での宿泊体験、これは保養村も含めてですが、行ったところでございます。そのほか、これに付随いたしまして、夜のまちへ誘導する交通スナック（？）という事業を合わせてしていただいたところでございます（？）。

実証の結果、2日間で、来場者につきましては約4500の方が御来場いただきまして、まちなかにぎわいにつながったと思っております。

この実証実験につきましては、今後振り返り等を行いまして、課題、また、新しい取組等を

考えていく必要があるかと思っております。

議長／7番 上田議員

上田議員／来場者の実績等々お話をいただきましたけれども、今回この千年夜市はあくまでも実証実験としてやっているということですので、余り来場者が実績が、どうなのかな。

来場者数は余り関係なかわけですよね。

どちらかといえばですね、あくまでも実証実験やけんがですね。

ですので、今後、この千年夜市の今回の取組を、今後のまちづくり、高架下の利用、駅周辺の活用の利用、この辺を今後どのようにまとめていかれるのか、そこら辺をちょっとお伺いしたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／今回の社会実験については、私たちとしては、使ってから整備をするという考え方でやっております。

つくって、そしてそこに使ってくださいだけではなくて、実際そこでこういうことを自分たちでやりたいというプレイヤーの発掘、そしてその育成、さらには市民参加、ここを非常に今回、大事にしております。

そういう意味での社会実験であります。

今回、先ほど上田議員おっしゃったように、若い人がとにかく多かったと。

3密を回避してやるというところで、おっしゃるとおり、実績として的人数というよりは、来られた方の属性として若い人が非常に多かったというのが、私も非常にこれはよかったというふうに思っています。

そういった方が来るだけではなくて、実際に主催者として参加をしたと。

いわば、そこで自分たちはこういうことを今後やりたいと、そういう人が今回増えてきたというのは今後につながるというふうに思っています。

今後についてですけれども、もう一度、今年度中に今回やった課題等も踏まえながら実施をしたいと考えておりますけれども、ぜひそこには、これまで以上に、主催となる方の人をさらに増やしていきたいというのが一つ。

そしてこれは私の考えですけれども、例えばエリアを駅南口まで広げるとか、そういった新しいチャレンジというところにもつなげていきたいというふうに思っています。

いずれにしても、一過性のイベントで終わるわけではなくて、実際にそこで新幹線開業後も

自分たちはここでこういうことをやると、継続的に常駐するプレイヤーというのが出てくるように、持続可能な仕組みにつなげていきたいと考えております。

議長／7番 上田議員

上田議員／ありがとうございます。

先ほどの答弁をいただくと、本当に実証実験だなという形で思いました。

先ほど、市長も今年度中にということで、改めてという話ではありましたが、その詳細等々、予定というか、表に出せるものがあるものなのかどうなのか。

議長／古賀営業部長

古賀営業部長／先ほど市長が答弁いたしましたとおり、今年度ということで、今のところ来年の3月をめどに再度、実証実験等を行いたいと思っております。

詳細等につきましてはこれからでございます。

議長／間もなく正午となりますが、一般質問をこのまま続けます。

7番 上田議員

上田議員／来年の3月、また実証実験の第2弾ということで、いろいろとやじも飛んでいるところが聞こえてはまいりましたけれども、ぜひ、市民参加型の先ほど市長がおっしゃいましたけど、課題を解決しながらということで、ぜひ、市民総参加型の実証実験というふうに持って行っていただきたいと思ひまして、次の質問に移ります。

新幹線についてでございますけれども、自民党県連の代表役員会のほうでアセスを受け入れるようにということで知事に要望があり、これが要請書でありますけれども、県議会のほうでは決議のほうも行われておりますけれども、県議会の一般質問等々を拝見する上では、全然のりくらりで、私はそういうふうに受けましたけど、答弁としては幅広い協議を行っていただきますとか、実際にそういう協議をやっていますという話が答弁としては出ておりましたけど、見ている私が感じるのは、もう全然前に進みよらんというような感覚で見よったわけでございますけれども、そういう中で11月の23日の佐賀新聞さんの記事なんですけど、山口県政評価81%と。

何でなのかなと、評価されている方もいらっしゃる、していない方もいらっしゃる(?)と、いろいろあると思ひますけど、81%中の数字にはちょっと私もびっくりしたところであります。

もっとびっくりしたのが、今回これですよ。

リレー方式 25%、フル規格 14%と。

何でなんだと。

記事を読んでいると、武雄市もリレーが最多であったみたいなことの記事も書いてありました。

これだけ市長も、常々フル規格が望ましいとずっとおっしゃっていただいているかと思いません。

私もずっと申し上げてきておりますけれども、今回何でかな、こういう記事になるかなと思いつながら見ていたら、ここに小さく今回のモニター数というか、モニター数っていうんですか、サンプル数というんですか、これが 626 人の回答を見ていると。

この中には、佐賀県内の 18 歳以上の有権者数を市町別に比例配分し、男女年代もということを書いてありましたので、ざくっと計算すると、武雄市の方は 30 人から 40 いかないぐらいの人数が、これに回答いただいているのかなと思うわけです。

30 人から 40 人いかない人数となると、ここにいる人数でも 40 人は超えているんじゃないか、ここにいる人数ぐらいなのかな。

それが武雄市ではもうそういう感じだということで、このサンプル数が適当なのか不適當なのかとかというような議論をするつもりはもちろんありませんけど、私としてはもう本当にショックだったのが、武雄市としてがこの数字になっているような記事もあって、とにかくまた一番、ここに分からないがまた増えているというような話をまた聞いて、もうこれはやっぱりどうにかせんといかんと思いつながらいたわけです。

私にここで寄せられた意見は、上田さん、こいぎ、おい、語つとらんけん、このアンケートにという方が何人もおんさーたですもんね、私に。

おい、何もこういうアンケート答えとらんけん、だけん、おいはフルですけどっていうような形で、そういうふうに言っていただいた方も何人かいらっしやったわけですけど、とにかくやはりこの記事を見て反省すべきところは、やはりまだまだ情報発信が全然足りんなというところと、今回このアンケート的なことの結果が新聞記事になっておりますけれども、30 人から 40 弱の武雄市の皆さんのアンケート結果が、もうあたかも武雄市の代表意見というふうに、こういうふうに出ると、もう皆さんそれが本当にそれが適当なんだと思われる方がたくさんいらっしやるんじゃないかなと思うわけですよ。

もちろんこれが、武雄市が 100 対 0 とかっていうような形になるなんて到底思っておりませんよ、いろんな意見があつていいわけですから。

ただ、やはり分からないが増えているというところで、情報発信の必要性を改めて感じるころであります。

今回、私がとにかく思ったのが、武雄市としての市民の皆さんの感情の把握をぜひすべき

ではないかなと思うわけです。

もういろんな新聞社のこういうアンケートがありましたけど、武雄独自調査ではこうですよって、そういう持ち合わせの材料が何もないんじゃないかなと思うわけですが、これについて答弁をお願いしたいと思います。

議長／小松市長

小松市長／今、私も市民の皆さんと新幹線について話す機会は結構あるんですけども、私の感触でも、この新聞で言うと武雄市はリレーが 32.4、フルが 10.8 となっていますけれども、私の感覚、感触としては、もう少しフルがよかもんねっていう方の市民の声のほうが多いのかなというのが、私の数字よりも多いのかなというのが印象です。

いつも申しておりますけれども、まず、リレー方式で暫定開業をスタートする、これは間違いない、プラスかどうかというと、プラスです。

ただ、先を考えますと、大きな西九州への流れをつくると。

あとは新幹線が開業、つながることで、そこでの収入が例えば並行在来線の維持にもつながって来たりするんじゃないかとそういうところもありますので、その辺も含めまして引き続き、フル規格が将来望ましいというふうに考えております。

ここについては、今、市でも様々な 2 年後に向けての取組、出前講座もかなり数も増えてきております。

今後にもさらに増やしていこうと思っておりますので、そういった部分においても、市民の皆さんの感情の把握については私たちもしっかりと努めていきたいと。

アンケートを一斉にやるとかは考えていませんけども、そういったまさにフェイストゥフェイスの場での把握に努めていきたいと考えております。

議長／7 番 上田議員

上田議員／よろしく申し上げます。

というのも、もう私もこっだけ、議会のこの場でフル規格の質問等々やっているからかも分かりませんが、私の周りも 8 割、9 割ぐらいの方がフルですもんね。

お前が、しっかり頑張らばぞというようなお話もいただいたりするわけですがけれども、ぜひそのようにお願いをしたいと思います。

続いて、スポーツ施設のことについてちょっと触れたいと思います。

新体育館の候補地が、ここの白岩球場のところに造る。

新球場が東川登の残土処分場のところに。

2023年佐賀体育会(?)、国スポこれが2024年になりましたかね、これもちょっと使い回しておりますので、プレ大会が2022年なのか2023年にプレ大会も延びるのかどうかも、ちょっとそこは私も把握をしておりませんでしたけれども、この球場体育館建設に伴って、やはり私も想定していたところもあります。

ほかの競技団体の皆さんだったり、競技者の皆さんだったりいろんな声をいただくわけです。やっぱり、ちょっと置きざられた感みたいなのところなのかどうなのか、それはもちろん分かります。

重々分かりますので、そのたびにちゃんと頑張っていきますよという話はさせていただいておりますけれども、今回、相撲場のことについての質問をさせていただきたいと思っておりますけれども、白岩相撲場があります。

もう一方で、北方運動公園相撲場がこちらのほうにもあるわけでありましてけれども、武雄市公共施設等個別施設計画、通称アセット計画と私どももっておりますけど、スポーツ施設***で、相撲場についてはさきの質問でも出ておりましたけど、北方運動公園との統合により廃止だったり、運動広場等の駐車場として活用とか、練習(?)の活用は非常に多いが***経年劣化が激しいため廃止と。

白岩相撲場と統合し、北方テニスコートの一部へ移転とかというような内容の計画はありません。

何度もこの議会の答弁等々でも聞いてきたような、私は聞いておりますけど、計画には載っているよと。

私も相撲連盟の一員ですので、相撲連盟の皆さんとも連絡はしょっちゅう取り合うわけですよ。

そういう中で計画に載るとか、あるいは別のある新聞で見たとか、ある人から聞いたとかというようにして、私の感覚からいけば、競技団体の皆さんとの協議をした上で整備を進めていくというように話を伺っているつもりでおりますけど、やはり活字のまた恐ろしさですよ。

こういうふうに乗っているとそう書いてあったとかいうようにして、一回火が消えたかなと、何となく落ち着いたかなと思ったらまたポーって燃えてくるわけですよ。

とにかく、改めてちょっとはっきりと申し上げていただきたいのは、今後の進め方、アセットの進め方をどのように持つていくつもりなのか、ぜひ御答弁願いたいと思います。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／白岩相撲場の計画内容につきましては、将来の方向性として考えられる一つの案として盛り込んだものでございますので、白岩相撲場を直ちに廃止することは考えてお

りません。

武雄市公共施設等個別施設計画のスポーツ編、スポーツ施設編においても、スポーツ施設全体を評価した上で各施設の方向性を示しており、統廃合の内容、その後の利活用につきましては、改めて関係団体の御意見をしっかりと聞き取る必要があると存じます。

さらには、武雄市スポーツ検討市民会議の中でも、廃止施設については利用者への代替え案をしっかりと説明してほしいなどの御意見をいただいております。

安易に時間をかけることは考えておりませんが、今後の需要の変化や財政見込み等を踏まえ協議を進めてまいります。

議長／7番 上田議員

上田議員／何度もその答弁、私も耳にしているつもりだったんですけど、改めてそういう声がありますので、**＊ちょっと表現おかしかですね、そのようにならないように、ちょっと関係団体とぜひ連携をやっていただきながら、進めていただきたいなと思います。

次に、サッカーラグビー場関係の皆さんからですが、武雄市内にはサッカー、ラグビー場、専用コートというところがあるかもしれませんが、専用で使えるような競技場というのは特にないわけでございます。

サッカーをやられる方、ラグビーをやられる方は多目的グラウンドを活用しながら実施をされているわけでございます。

市長、これは市長の公約のチラシ、久しぶりに見られたわけでもないわけですね。

体育施設の整備、誘致など、スポーツのまちづくりに挑みますということをお願いしておりますけれども、これが私が平成28年9月議会での一般質問です。

市有地の民活の事例として、市川市のアーセナルのクラブチームの事例を紹介したところがあります。

***ということで、クラブハウスの市有地に民活で建てられながら、こういうふうに人工芝の広い競技場を保有されております。

見ていただくと分かると思いますが、この線が、普通だったらこれは基礎を打って、しっかりした基礎を打って、その上に人工芝を張っていく方法だと普通は思うわけです。

だから、ラインは普通真つすぐにしとーとですよ。

ですけど、こう見ていただくと分かるんですけど、ちょっとやっぱりごとごととって、ちょこっとしとーですもんね。

ほとんど、でも真つすぐしとーとですけども。

先日も、私、ジェフ市原の練習場の部分を見学に行かせていただいております。

そこでは、同じように真つすぐ地べたに基礎線で、このように(?)白線がちょっと少しカ

ープしたりとかというような人工芝のグラウンドもありましたが、片方では、もうしっかり基礎を打って、もう立った瞬間でも腰に負担がきそうだなみたいな感じの人工芝のグラウンドも何面もありましたので、そこをずっと見させていただきました。

このようにして、人工芝もやり方いろいろあるかと思えますので、今、私も武雄市サッカー協会の人間でもありますので、ぜひそういう声が上がっているわけです。

武雄市にも人工芝のグラウンドを設置してほしいと。

市川アーセナル、アーセナル市川のグラウンドがここ、上空図ですけど、またこっちにも広げようとされております。

この部分が、もう広がった。

もう当時からすると何年かたっていますので広がっていると思えますけど、これが市有地の無償貸与による民活ということで当時質問をさせていただいたわけですがけれども、改めて武雄市のほうでも今回、ユースのクラブチームがまた新たに立ち上がろうとしております。

そのような関係で、ぜひ市内のほうに人工芝のサッカー場を設置を望む声が日に日に高まっておるわけですけど、これについての市の見解をお願いしたいと思えます。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／現在、新球場及び新体育館の整備事業を進めている中で、現時点ではサッカー場、ラグビー場の整備について具体的な計画はございません。

しかしながら、武雄出身者のＪリーグでの活躍や、市内のクラブチーム活動も活発に行っており、サッカー場整備についての機運が高まっていることは認識しております。

今後も需要と財政状況を見極め、関係団体、それから議員提案であります民間活用も含め、共有しながら最適な方法を探ってまいりたいと思えます。

議長／7番 上田議員

上田議員／ぜひお願いしたいと思えます。

どこか、市内のどこかの市有地をトライアル的に人工芝が果たしてどれぐらい持つものなのかというふうな、トライアル的なものでの導入も、ぜひ考えていただきたいと思えます。ぜひよろしくお願ひします。

次の質問に行きます。

先ほど、よくほかのスポーツをされている方によく言われるのが、他市にはある施設がなぜ武雄市にはないのかというような声が、やっぱりたくさんいただくわけです。

先ほどのサッカー場であったり、タータンが設置されている陸上競技場であったりとか、い

ろんな話を聞くわけです。

それももう、もちろんいろんな話があつて、あれもこれも何でもかんでもというわけにはいかないとは思いますが、一つ一つ、皆さんの希望に添うような形で応えていただきたいなと思うところがあります。

それと同時に、他市が実施している事業がなぜ武雄市ではできないのかというのもまたいただくわけです。

これは中身は何ですかと話をしたところ、サガン鳥栖へのマチスポンサー(?)をぜひ武雄市も検討してみてはどうかという話です。

今、県内で佐賀市、唐津市、嬉野市、***もやったですかね、いやその3つか、マチスポンサー(?)をやられておりますけど、武雄市でもぜひしてはどうかとお話がありますが、これについて市の見解をお伺いしたいと思います。

議長／庭木企画部長

庭木企画部長／議員御提案のマチスポンサー(?)につきましては、県内で取り組まれている自治体があるものの、実施規模にもよりますが数百万円の予算が必要となるため、当市での実施は厳しい金額と認識しております。

ただ、武雄市からプロサッカー選手が誕生したことは大変喜ばしいことでありますので、今後どのような支援、協力が可能か、情報を集約して取り組んでまいりたいと存じます。

議長／7番 上田議員

上田議員／金額の大小はありますが、他市の事例もいろいろ私も確認はさせていただきましたけど、なかなか結構な金額になるわけですよ。

それを踏まえての話ではありましたけど、先ほどの部長の答弁の中にも出てきておりましたけど、今回、相良選手が高校3年生の武雄の出身の選手です。

初先発、初ゴールということで、サガン鳥栖で活躍をされております。

過去にも、森選手だったり、サガン鳥栖で武雄出身の選手、サッカー選手もたくさんいらっしゃいますけど、これからの若い逸材でございますので、ぜひもう武雄こそって応援をしていただきたいと思うわけです。

特に、過去にはプロ野球選手でも、もちろん古川侑利選手もまだ現役で頑張っております。

ただ、やはり巨人となるとなかなか現場に行って応援してやろうとなっても、東京まで行かんといかんというふうになると、交流戦の福岡ドームぐらいだったらまだ何とか、ヤフーか、

まだあると思いますけど、今度は相良選手がこうやって活躍をしていただくことに、武雄市、せっかく武雄市の子が佐賀の郷土のチームで活躍の場をもたれたということで、ぜひ武雄市として応援をしていきたいと思うわけですけど、これについて最後の質問とさせていただきます。

議長／小松市長

小松市長／ぜひ相良君を、私も応援をしていきたいと思っています。
やっぱり市民みんなの盛り上がり、何より大事だと思っています。
お金もみんなで集めるということもできると思います。
そこに市が応援するというのもできると思います。
そこはいろんな声を聞きながら、とにかく応援を皆でしていけるように我々も考えていきたいと思っています。

議長／以上で、7番 上田議員の質問を終了させていただきます。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会します。

お疲れさまでした。